

資料第 1372号

令和元年度

学校基本調査結果報告

令和2年1月

広島県

は し が き

学校基本調査は、統計法に基づく基幹統計調査（文部科学省所管）で、毎年5月1日現在で実施されています。

この結果報告は、県が国の委託を受けて調査した結果に、文部科学省が直接調査した国立学校の結果を加えて、本県分の概要として取りまとめたものです。

結果の全容については、文部科学省刊行の学校基本調査報告書と併せて御活用いただければ幸いです。

終わりに、調査の実施に当たり御回答をいただいた各学校をはじめ、市町及び市町教育委員会、その他関係者の方々に対し厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも一層の御協力をお願いいたします。

令和2年1月

広島県経営戦略審議官 松 井 浩 美

目 次

利用者のために

結果の概要

I	概況	1
II	学校調査	
1	幼稚園	1 4
2	幼保連携型認定こども園	1 6
3	小学校	1 8
4	中学校	1 9
5	義務教育学校	2 0
6	高等学校	2 1
7	中等教育学校	2 6
8	特別支援学校	2 7
9	専修学校	2 8
10	各種学校	3 0
III	卒業後の状況調査	
1	中学校	3 1
2	義務教育学校	3 3
3	高等学校	3 4
4	中等教育学校（前期課程）	3 6
5	特別支援学校	3 7
IV	不就学学齢児童生徒調査	
1	不就学学齢児童生徒数	4 0
	[参考]	
1	広島県の大学，短期大学，高等専門学校の状況	4 1
2	大学，短期大学の転入出状況	4 2

統計表

1	総括表	4 3
2	幼稚園	4 4
3	幼保連携型認定こども園	4 6
4	小学校	4 8
5	中学校	5 0
6	義務教育学校	5 2
7	高等学校（全日制・定時制）	5 4
8	高等学校（通信制）	5 6
9	中等教育学校	5 8
10	特別支援学校	6 0
11	専修学校	6 2
12	各種学校	6 4
13	中学校等の卒業後の状況 （中学校・義務教育学校（後期課程）・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（中学部））	6 6
14	中学校等の卒業後の高等学校等への進学 （中学校・義務教育学校（後期課程）・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（中学部））	6 8
15	中学校等の卒業後の就職 （中学校・義務教育学校（後期課程）・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（中学部））	7 0

16	高等学校等の卒業後の状況 (高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校(高等部))	7 2
17	高等学校等の卒業後の大学等への進学状況 (高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校(高等部))	7 4
18	高等学校等の卒業後の産業別の就職状況 (高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校(高等部))	7 6
19	高等学校等の卒業後の職業別の就職状況 (高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校(高等部))	7 8
20	高等学校の卒業後の地域別の就職状況	8 0
21	不就学学齢児童生徒調査	8 2
22	学校施設調査	8 3

付表

付表 1	年次別園児・児童・生徒・在学者数	8 5
付表 2	年次別進学率・就職率・就園率	8 6
付表 3	大学、短期大学への入学先・出身県別入学者数及び 高等学校卒業者の就職先・出身県別就職者数	8 7

利 用 者 の た め に

1 調査の概要

(1) 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査の法的根拠

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく文部科学省所管の基幹統計調査（昭和 23 年度から毎年実施）

(3) 調査の期日

令和元年 5 月 1 日現在

(4) 調査の対象

国立・公立・私立の幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，専修学校，各種学校及び市町の教育委員会

（注：国立の学校は文部科学省の直接調査となっている。）

(5) 調査票の種類と主な調査事項

ア 学校調査……………学校数，学級数，園児・児童・生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業生数等。

イ 学校通信教育調査……………学校数，生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業生数等。

ウ 卒業後の状況調査……………中学校，高等学校全日制・定時制課程，特別支援学校については平成 31 年 3 月卒業生（年度途中（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）に卒業を認められた者も含む。）の 5 月 1 日現在の状況。高等学校通信制課程については，平成 30 年度間卒業生の 5 月 1 日現在の状況。（高等学校通信制についてのこの調査事項は，昭和 61 年度に新設された。）

なお，この調査における中学校又は高等学校卒業生の高等学校又は大学等への「入学志願者数」には，高等学校の通信制課程，大学及び短期大学の通信教育部並びに放送大学への入学志願者は含まれていない。

エ 不就学学齢児童生徒調査…就学免除者数，就学猶予者数，1 年以上居所不明者数及び学齢児童生徒死亡者数。

オ 学校施設調査……………土地又は建物の用途別及び構造別等の面積並びに増減の状況。

2 報告書の内容及び資料

(1) この報告書には，「学校調査」，「学校通信教育調査」，「卒業後の状況調査」，「不就学学齢児童生徒調査」及び「学校施設調査」の結果の一部を収録している。

(2) 平成 30 年度以前の数値は，原則として，文部科学省「学校基本調査報告書」による。

ただし，この報告書に掲載されていない数値は，県集計表による。

(3) 本年度の数値は，県集計表及び文部科学省「令和元年度学校基本調査報告書」による。

3 用語の説明等

(1) この調査における用語の説明は、次に掲げるほか、必要に応じてそれぞれの表に脚注として掲げた。

- ア 「教員数(本務者), ..本務・兼務の区別は原則として辞令面による。本務者には、休職者・産職員数(本務者)」 休者及び育児休業者並びに産休代替者及び育児休業代替者を含める。
- イ 「特別支援学級」 ..学校教育法第81条第2項に該当する児童生徒(知的障害, 肢体不自由, 病弱・身体虚弱, 弱視, 難聴, 言語障害, 自閉症・情緒障害)で編成されている学級をいう。
- ウ 「外国人」 ..日本の国籍を持たない者をいう。日本と外国の両方に国籍を有する者は日本人とする。
- エ 「併置校」 ..高等学校において、「全日制」及び「定時制」, 「全日制」及び「通信制」, 又は「定時制」及び「通信制」の課程を設置している学校をいう。
- オ 「高等学校等」 ..高等学校の本科(全日制, 定時制及び通信制)及び別科, 中等教育学校後期課程の本科及び別科, 高等専門学校, 特別支援学校高等部の本科及び別科に進学した者をいう。
- カ 「大学等進学者」 ..大学(学部), 短期大学(本科), 大学・短期大学の通信教育部及び放送大学, 大学・短期大学(別科), 高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者をいう。
- キ 「専修学校等」 ..専修学校, 各種学校又は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。ただし, 進学しながら専修学校等に通学している者は「進学者」として入学者」
- ク 「就職者」 ..給料, 賃金, 利潤, 報酬その他経常的収入を得る仕事に就いた者をいう。(自家・自営業に就いた者は含めるが, 家事手伝いや臨時的な仕事に就いた者は含めない。) 就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者は, それぞれ「進学者」, 「専修学校等入学者」に含めるとともに, 就職率の算出及び就職先の産業別・職業別等就職者数にも含める。
- ケ 「一時的な仕事に就いた者」 ..臨時的な収入を目的とする仕事(アルバイト・パート等)に就いた者であり, 雇用の期間が1年未満又は雇用の期間の長さにかかわらず短時間勤務の者をいう。平成16年度から調査を開始。
- コ 「進学率」 ..卒業生総数のうち進学者(就職しながら進学した者を含む。)の割合で, 次の式により算出する。

$$\text{進学率} = \frac{\text{進学者 (就職進学者を含む。)}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

- サ 「専修学校等」 ..卒業生総数のうち専修学校等入学者(就職しながら専修学校等に入学した者を含む。)の割合で, 次の式により算出する。

$$\text{専修学校等入学率} = \frac{\text{専修学校等入学者 (就職しながら専修学校等に入学した者を含む。)}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

- シ 「就職率」 ……卒業生総数のうち就職者（就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者} + \text{Aのうち就職者} + \text{Bのうち就職者}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

※A＝進学者 B＝専修学校等入学者

- ス 「専修学校」 ……学校教育法第1条の学校以外で、職業や实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う教育施設（学校教育法第124条）をいう。修業年限は1年以上で、常時40人以上を対象として年間800時間以上の授業を行うものとされているほか、教員資格、教員数、校舎面積などについて専修学校設置基準（昭和51年文部省令第2号）を満たし、認可を受けたものをいう。
- セ 「各種学校」 ……学校教育法第1条の学校及び専修学校以外の学校教育に類する教育を行う教育施設（学校教育法第134条）で、年間授業時数、教員数、校舎面積などについて各種学校規程（昭和31年文部省令第31号）の基準を満たし、認可を受けたものをいう。
- ソ 「特別支援学校」 ……盲学校、ろう学校及び養護学校が、学校教育法の一部改正に伴い平成19年4月1日から特別支援学校となった。

- (2) 統計表中の記号は次のとおりである。

「—」 ……該当数値のないもの。
「…」 ……数値不詳のもの。
「0.0」 ……数値が単位未満のもの。
「△」 ……負数又は減少を示す。

- (3) 統計表の中には、四捨五入の関係で統計（合計）と内訳が一致しない場合がある。比率は小数点第1位までの表章としており、表章未満は四捨五入している。

- (4) この報告書についてのお問い合わせ先

広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ

〒730-8511 広島市中区基町10-52

電話 (082) 513-2534 (ダイヤル) FAX (082) 211-3575

広島県では、2019年（平成31年）3月から、2022年（令和4年）3月までの予定で、県庁舎耐震改修工事等を行っています。この工事に伴い、統計課は、次の住所に仮移転しています。

《移転先》 〒730-0013 広島市中区八丁堀2番31号 広島鴻池ビル4階

この内容については広島県のホームページでも情報提供していますので、御利用ください。「広島県統計課」で検索してください。

ホームページアドレス <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/21/>

結 果 の 概 要

結果の概要

I 概況

令和元年5月1日現在で実施した学校基本調査（大学，短期大学，高等専門学校を除く。）の結果の概要は，次のとおりである。

(1) 学校数

- 幼稚園は240園で，前年度より12園減少。
- 幼保連携型認定こども園は129園で，前年度より19園増加。
- 小学校は479校で，前年度より6校減少。
- 中学校は268校で，前年度と同じ。
- 義務教育学校は4校で，前年度より1校増加。
- 高等学校は136校で，前年度より1校減少。
- 中等教育学校は1校で，前年度と同じ。
- 特別支援学校は18校で，前年度と同じ。
- 専修学校は76校で，前年度と同じ。
- 各種学校は24校で，前年度より1校減少。

(2) 在学者数

- 幼稚園園児数は24,365人で，前年度より1,665人減少。
- 幼保連携型認定こども園園児数は17,392人で，前年度より2,679人増加。
- 小学校児童数は150,797人で，前年度より982人減少。
- 中学校生徒数は74,394人で，前年度より655人減少。
- 義務教育学校児童生徒数は1,506人で，前年度より153人増加。
- 高等学校生徒数は73,967人で，前年度より1,124人減少。
- 中等教育学校生徒数は699人で，前年度より114人増加。
- 特別支援学校在学者数は2,788人で，前年度より33人増加。
- 専修学校生徒数は12,510人で，前年度より115人減少。
- 各種学校生徒数は2,101人で，前年度より125人減少。

[参考]

- 小学校及び義務教育学校前期課程の児童を合計した児童数（以下「小学校相当児童数」という。）は151,773人で，前年度より886人減少。
- 中学校，義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程の生徒を合計した生徒数（以下「中学校相当生徒数」という。）は，75,282人で，前年度より597人減少。
- 高等学校及び中等教育学校後期課程の生徒を合計した生徒数（以下「高等学校相当生徒数」という。）は，74,308人で，前年度より1,011人減少。

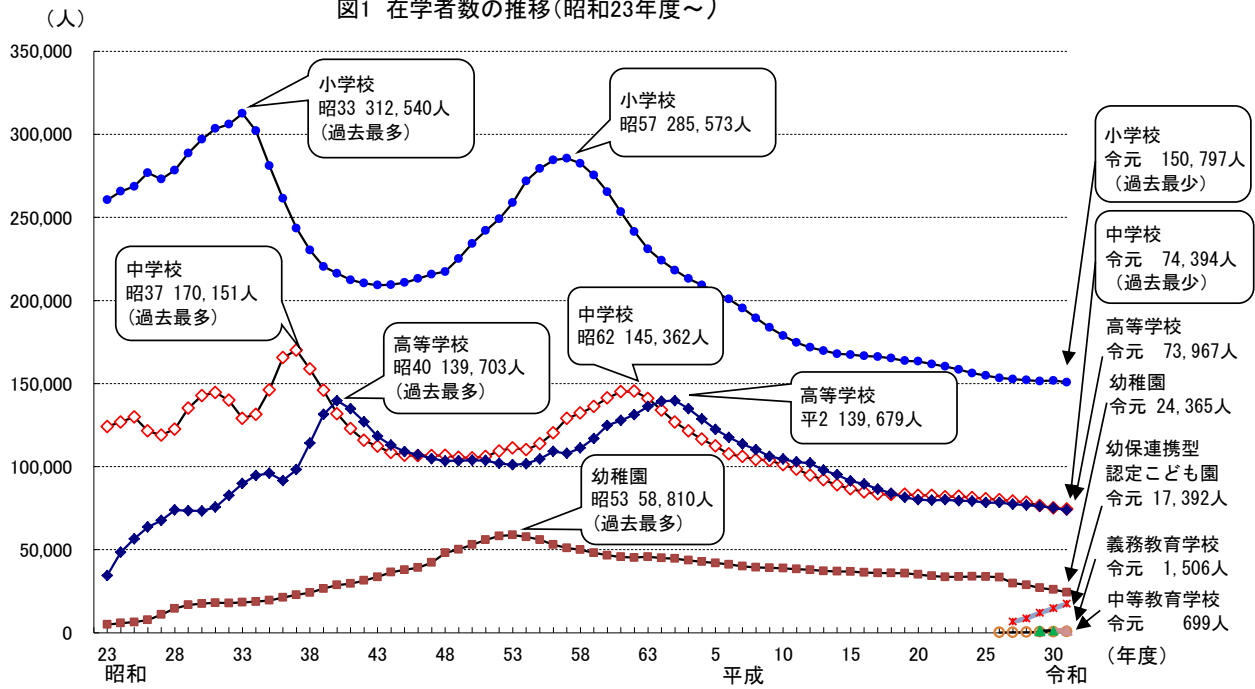
(3) 教員数（本務者）

- 幼稚園教員数（本務者）は1,960人で，前年度より12人増加。
- 幼保連携型認定こども園教育・保育職員数（本務者）は2,912人で，前年度より513人増加。
- 小学校教員数（本務者）は9,707人で，前年度より61人増加。
- 中学校教員数（本務者）は5,490人で，前年度より39人増加。
- 義務教育学校教員数（本務者）は135人で，前年度より26人増加。
- 高等学校教員数（本務者）は5,389人で，前年度より15人減少。
- 中等教育学校教員数（本務者）は53人で，前年度より13人増加。
- 特別支援学校教員数（本務者）は1,563人で，前年度より13人増加。
- 専修学校教員数（本務者）は790人で，前年度より3人減少。
- 各種学校教員数（本務者）は169人で，前年度より4人増加。

区 分	学 校 数		在 学 者 数		教員数(本務者)	
	校(園)	対前年度増減	人	対前年度増減	人	対前年度増減
幼 稚 園	240	△12	24,365	△1,665	1,960	12
幼保連携型認定こども園	129	19	17,392	2,679	2,912	513
小 学 校	479	△6	150,797	△982	9,707	61
中 学 校	268	-	74,394	△655	5,490	39
義 務 教 育 学 校	4	1	1,506	153	135	26
前期課程	…	…	976	96	…	…
後期課程	…	…	530	57	…	…
高 等 学 校	136	△1	73,967	△1,124	5,389	△15
中 等 教 育 学 校	1	-	699	114	53	13
前期課程	…	…	358	1	…	…
後期課程	…	…	341	113	…	…
特 別 支 援 学 校	18	-	2,788	33	1,563	13
専 修 学 校	76	-	12,510	△115	790	△3
各 種 学 校	24	△1	2,101	△125	169	4

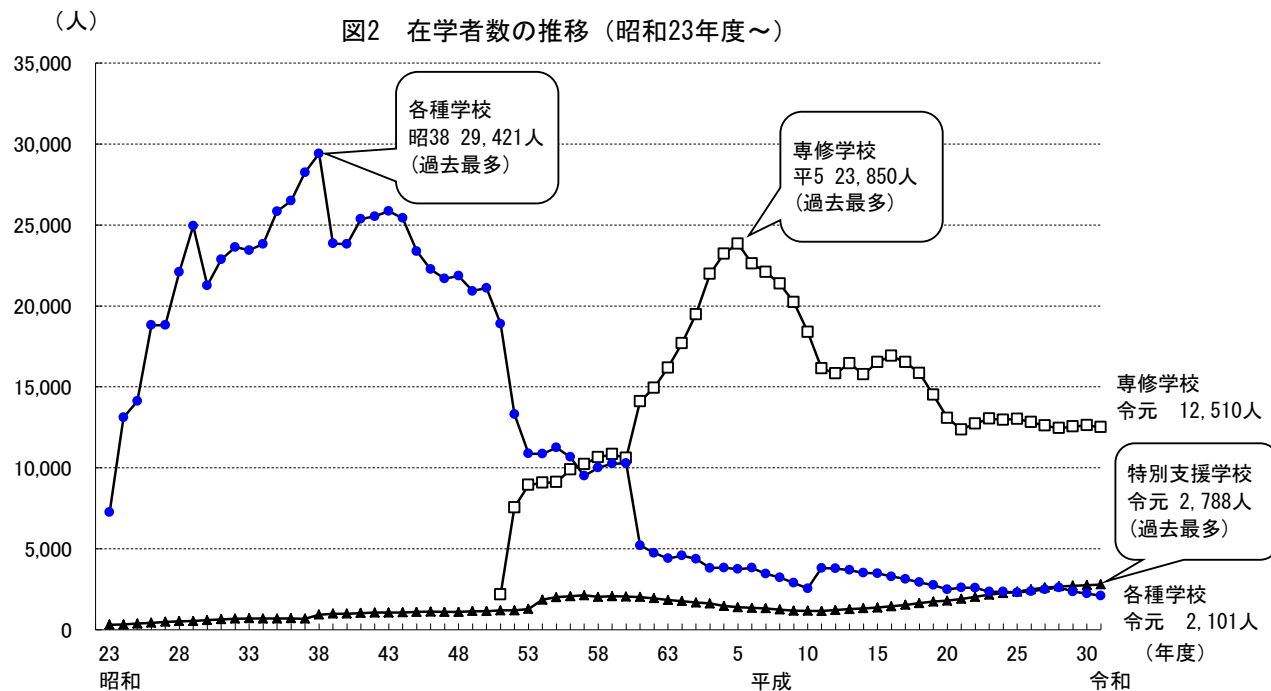
- 幼稚園園児数は、ピーク時（昭和53年度58,810人）の41.4%。
- 小学校児童数は、第二次ピーク時（昭和57年度285,573人）の52.8%で、過去最少。
- 中学校生徒数は、第二次ピーク時（昭和62年度145,362人）の51.2%で、過去最少。
- 高等学校生徒数は、第二次ピーク時（平成2年度139,679人）の53.0%。

図1 在学者数の推移（昭和23年度～）



- 特別支援学校在学者数は、過去最多。
- 専修学校生徒数は、ピーク時（平成5年度23,850人）の52.5%。
- 各種学校生徒数は、ピーク時（昭和38年度29,421人）の7.1%。

図2 在学者数の推移（昭和23年度～）

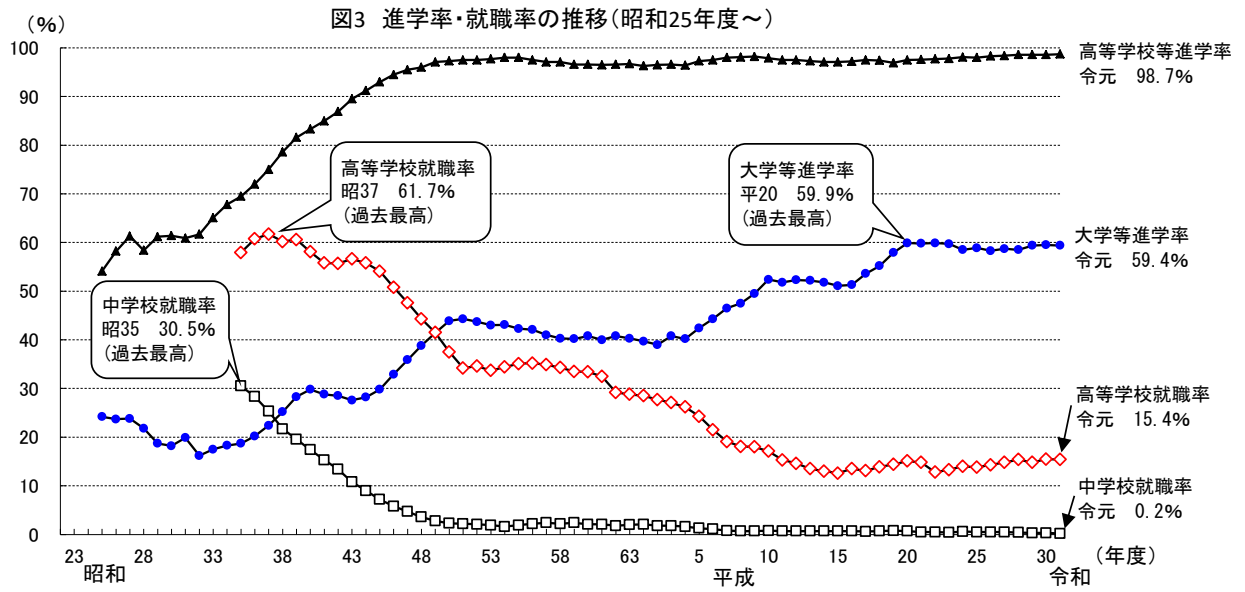


<中学校卒業後の状況>

○進学率は前年度より0.1ポイント上昇し98.7%、就職率は前年度より0.1ポイント低下し0.2%である。

<高等学校卒業後の状況>

○進学率は前年度より0.1ポイント低下し59.4%、就職率は前年度より0.1ポイント低下し15.4%である。



注)昭和25年度以前の進学率及び昭和35年度以前の就職率は不詳。

〔幼稚園・幼保連携型認定こども園〕

「幼保連携型認定こども園」は、以下、図中は「こども園」とする。

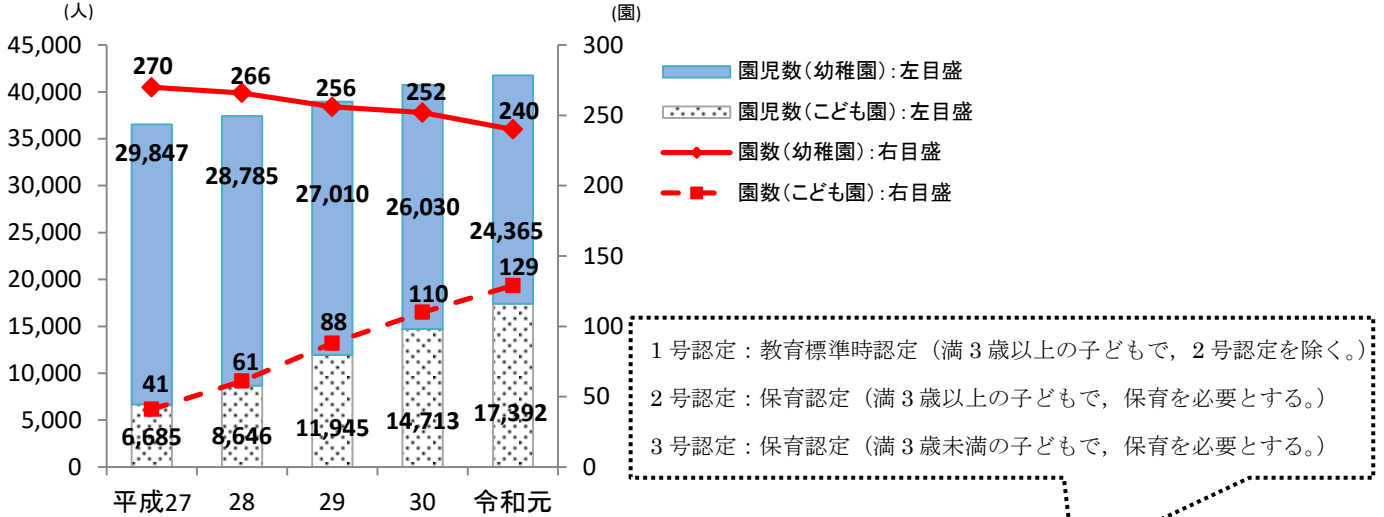
(1) 学校数・園児数

幼保連携型認定こども園への移行により、幼稚園の園数・園児数は減少している。〔図4〕

幼稚園では5歳児が最も多い。〔図5〕 幼保連携型認定こども園では3～5歳児が72.1%を占めている。〔図6〕

幼保連携型認定こども園の認定号別では、保育が必要な2号認定及び3号認定が72.3%を占めている。〔図7〕

図4 幼稚園及びこども園の園数・園児数



1号認定：教育標準時認定（満3歳以上の子どもで、2号認定を除く。）
 2号認定：保育認定（満3歳以上の子どもで、保育を必要とする。）
 3号認定：保育認定（満3歳未満の子どもで、保育を必要とする。）

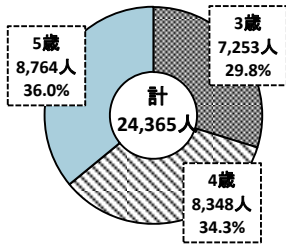


図5 幼稚園 園児数内訳

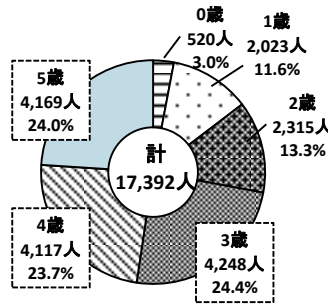


図6 こども園 園児数内訳

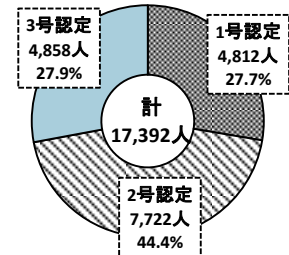


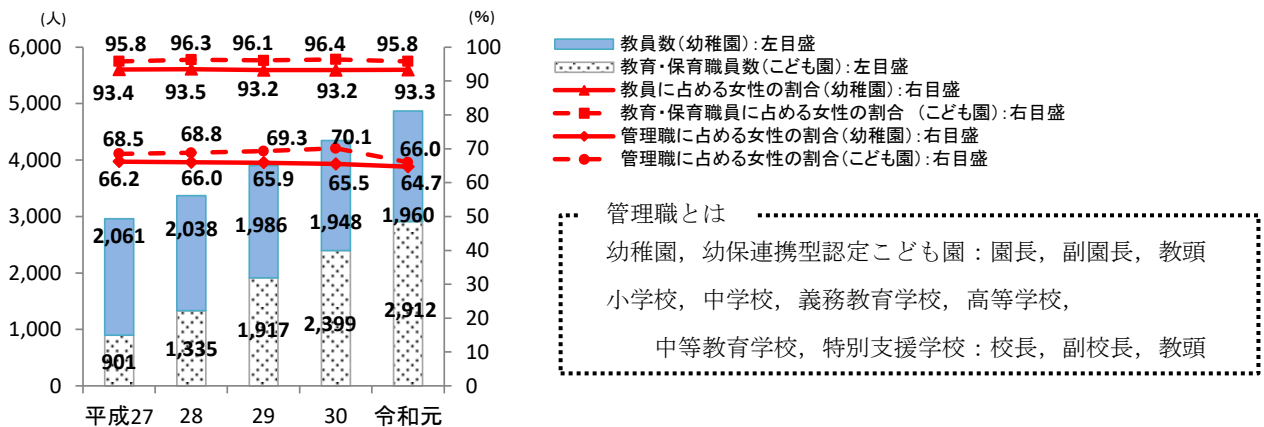
図7 こども園 認定号内訳

(2) 教員，教育・保育職員数（本務者）

幼稚園の教員数（本務者），幼保連携型認定こども園の教育・保育職員数（本務者）ともに増加した。〔図8〕

教員，教育・保育職員に占める女性の割合はいずれも90%台で推移している。管理職に占める女性の割合は，幼稚園は60%台で推移している。幼保連携型認定こども園は前年度は70%を上回ったが，今年度は60%台に低下した。〔図8〕

図8 幼稚園及びこども園の教員，教育・保育職員数・教員，教育・保育職員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



管理職とは
 幼稚園，幼保連携型認定こども園：園長，副園長，教頭
 小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，
 中等教育学校，特別支援学校：校長，副校長，教頭

〔小学校〕

学校数は前年度より6校減少した。児童数も982人減少に転じた。〔図9〕

教員数（本務者）は増加傾向が続いている。また、教員に占める女性の割合は60%台後半で推移している。管理職に占める女性の割合は平成29年度以降40%を上回り、上昇傾向にある。〔図10〕

図9 小学校の学校数・児童数

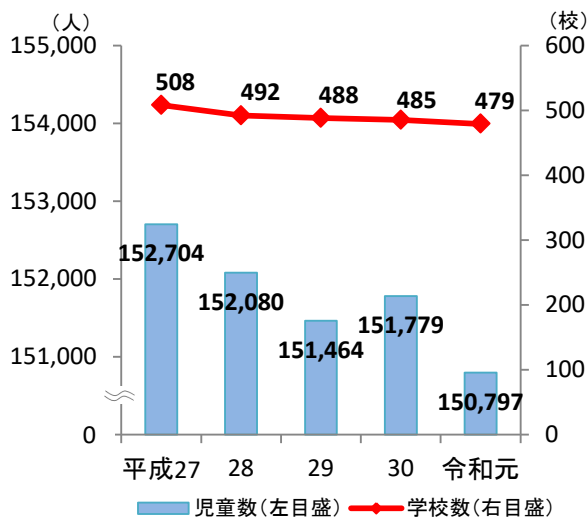
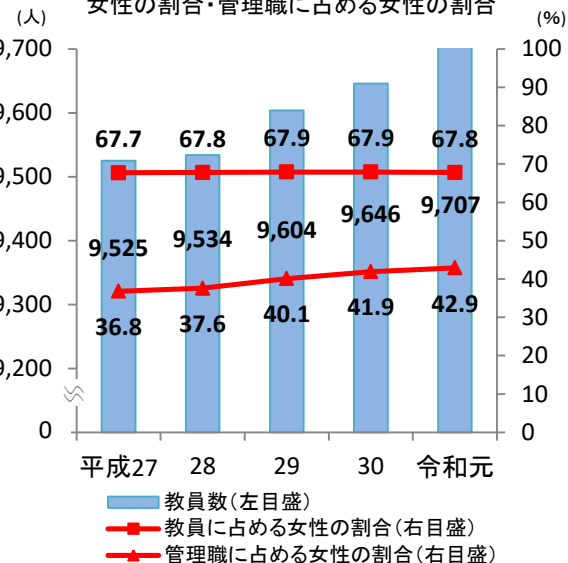


図10 小学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



〔中学校〕

学校数は前年度と同数。生徒数は減少傾向が続いている。〔図11〕

教員数（本務者）は4年ぶりに増加に転じた。教員に占める女性の割合は40%台半ばで推移している。管理職に占める女性の割合は今年度は16%を上回り、上昇傾向にある。〔図12〕

図11 中学校の学校数・生徒数

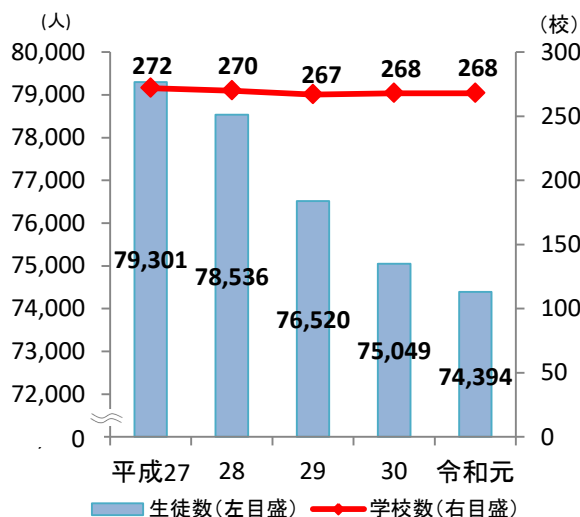
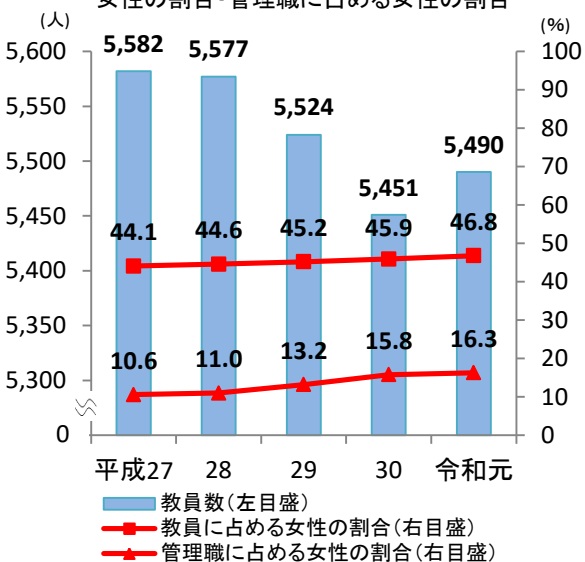


図12 中学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



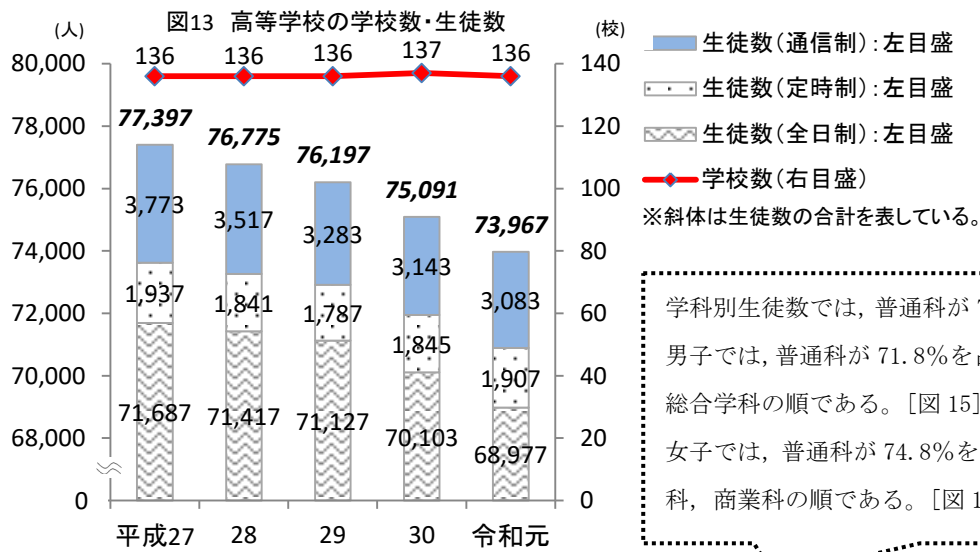
〔義務教育学校〕

今年度1校新設され、4校となった。児童生徒数は1,506人で前年度より153人増加した。教員数（本務者）は135人で前年度より26人増加した。

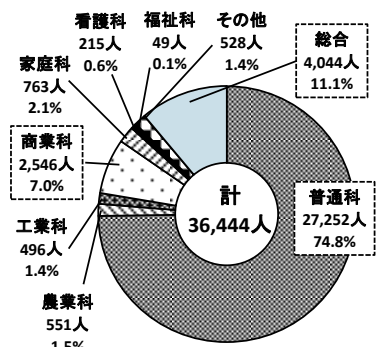
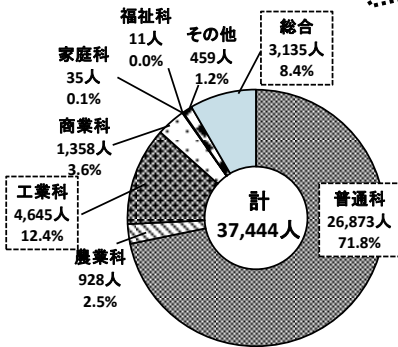
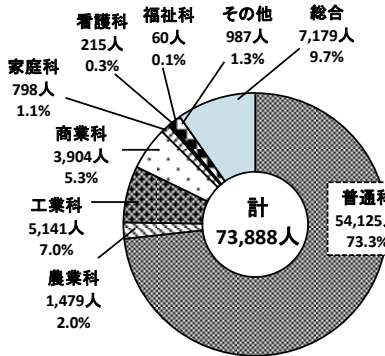
[高等学校]

(1) 学校数・生徒数

高等学校は全日制が前年度より1校減少した。生徒数は減少傾向にある。[図13]



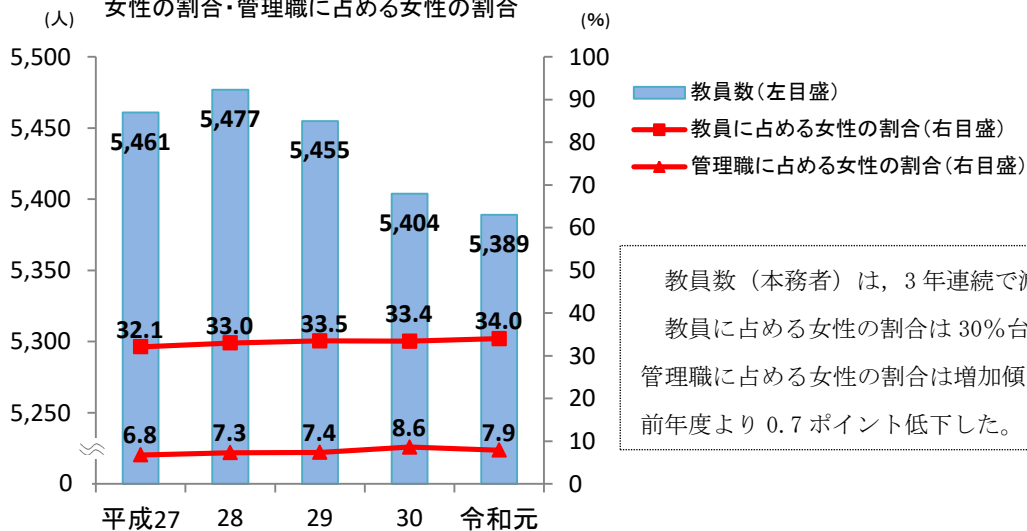
学科別生徒数では、普通科が73.3%を占めている。[図14]
男子では、普通科が71.8%を占め最も多く、次いで工業科、総合学科の順である。[図15]
女子では、普通科が74.8%を占め最も多く、次いで総合学科、商業科の順である。[図16]



注) 図14, 図15及び図16は本科生の学科別生徒数を表したもので、専攻科生79名は除く。

(2) 教員数(本務者)

図17 高等学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



教員数(本務者)は、3年連続で減少している。[図17]
教員に占める女性の割合は30%前半半で推移している。
管理職に占める女性の割合は増加傾向にあるが、今年度は前年度より0.7ポイント低下した。[図17]

[中等教育学校]

学校数は1校で後期課程の開始から3年目。前・後期課程合わせて生徒数は699人で前年度より114人増加した。教員数(本務者)は53人で前年度より13人増加した。

今年度の在学者数は2,788人で前年度より33人増加し、過去最多を更新した。[図18]

教員数は前年度より13人増加した。また、教員に占める女性の割合は60%台で推移している。管理職に占める女性の割合は増加傾向にあり、今年度は前年度より4.3ポイント上昇し42.6%となった。[図19]

図18 特別支援学校の学校数・在学者数

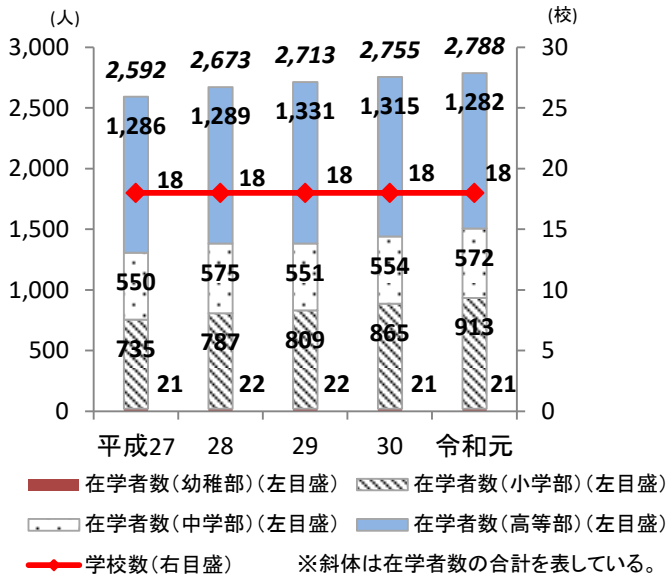
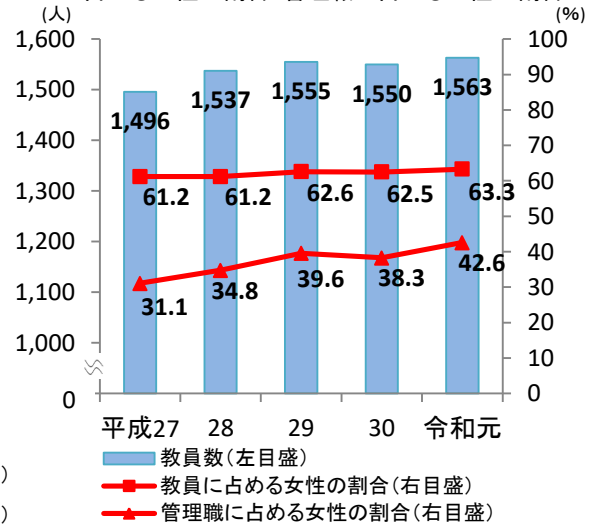


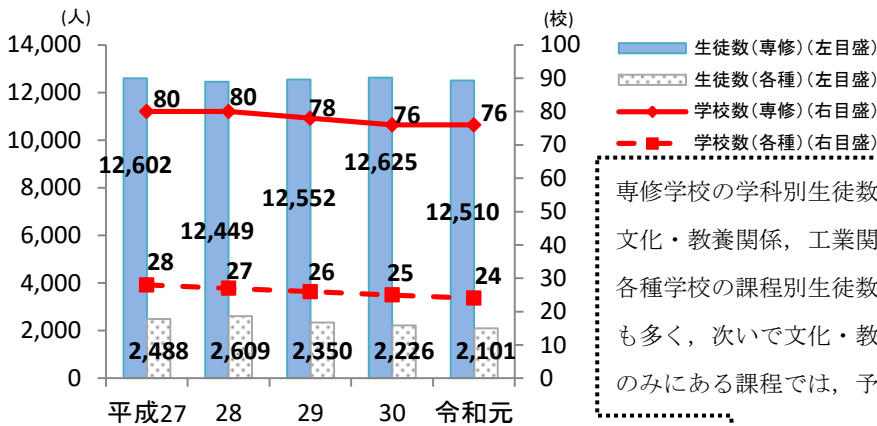
図19 特別支援学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



[専修学校・各種学校]

専修学校の学校数は前年度と同数。生徒数は減少傾向が続く中、過去2年は増加していたが、今年度は減少に転じた。各種学校の学校数は平成26年度以降5年連続で減少し、生徒数は3年連続で減少した。[図20]

図20 専修学校及び各種学校の学校数・生徒数



専修学校の学科別生徒数は、医療関係が32.5%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、工業関係の順である。[図21]
各種学校の課程別生徒数は、各種学校のみにある課程が71.7%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、医療関係の順である。また、各種学校のみにある課程では、予備校の生徒数が80.8%を占めている。[図22]

図21 学科別生徒数(専修学校)

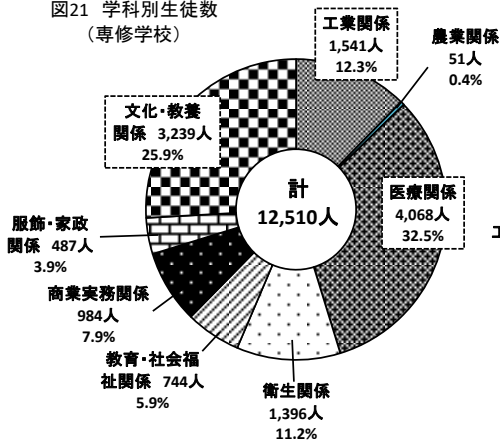
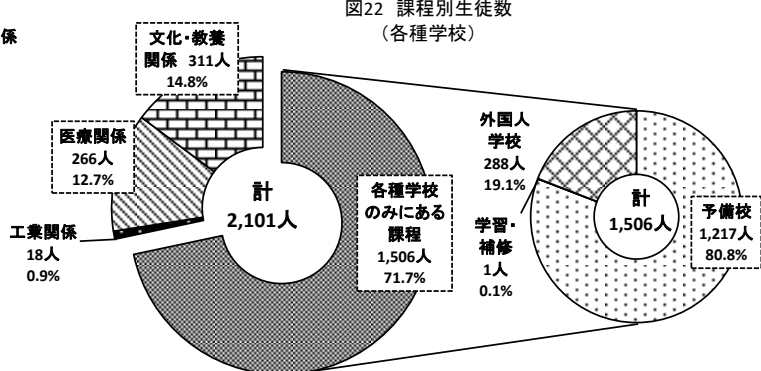
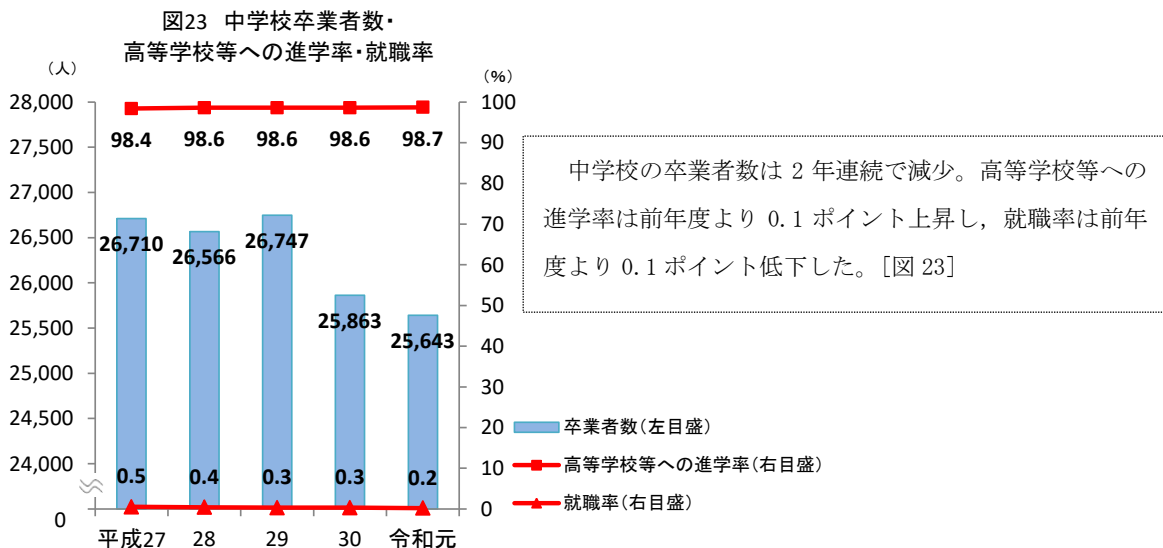


図22 課程別生徒数(各種学校)



[中学校卒業後の状況]

(1) 卒業後の状況



(2) 高等学校等進学者

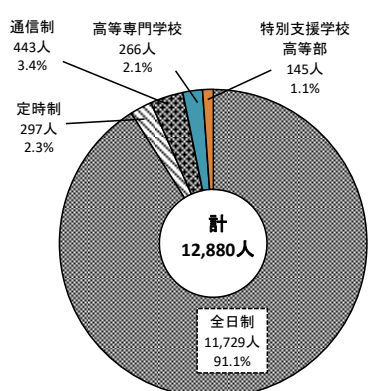


図24 高等学校等進学者内訳(男)

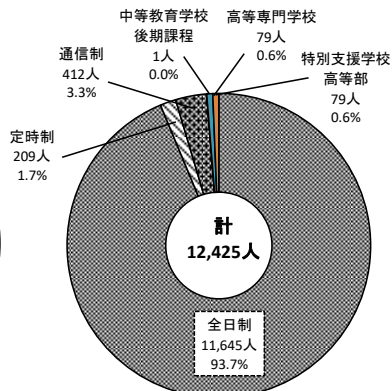


図25 高等学校等進学者内訳(女)

女子の進学者に占める全日制進学者の割合は93.7%で、男子を2.6ポイント上回っている。[図24]、[図25]

(3) 就職者

男女ともに第3次産業への就職が最も多くを占めている。地域別の就職は男性の91.5%、女性の92.3%が県内で就職している。[図26]～[図29]

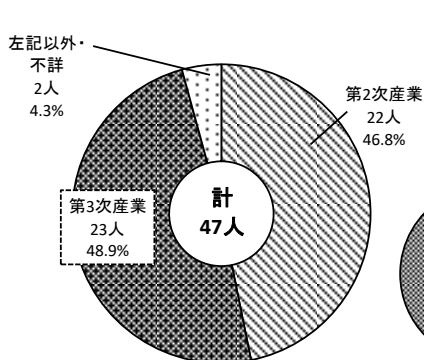


図26 就職者内訳(男)

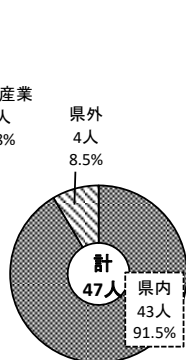


図27 地域別(男)

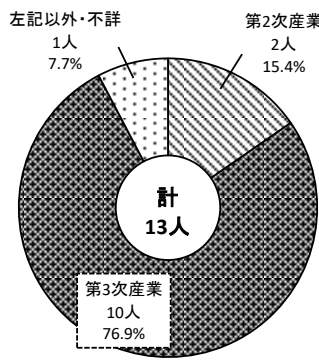


図28 就職者内訳(女)

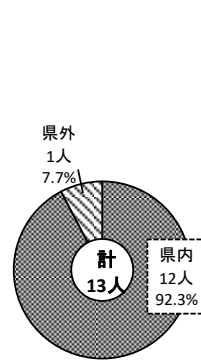


図29 地域別(女)

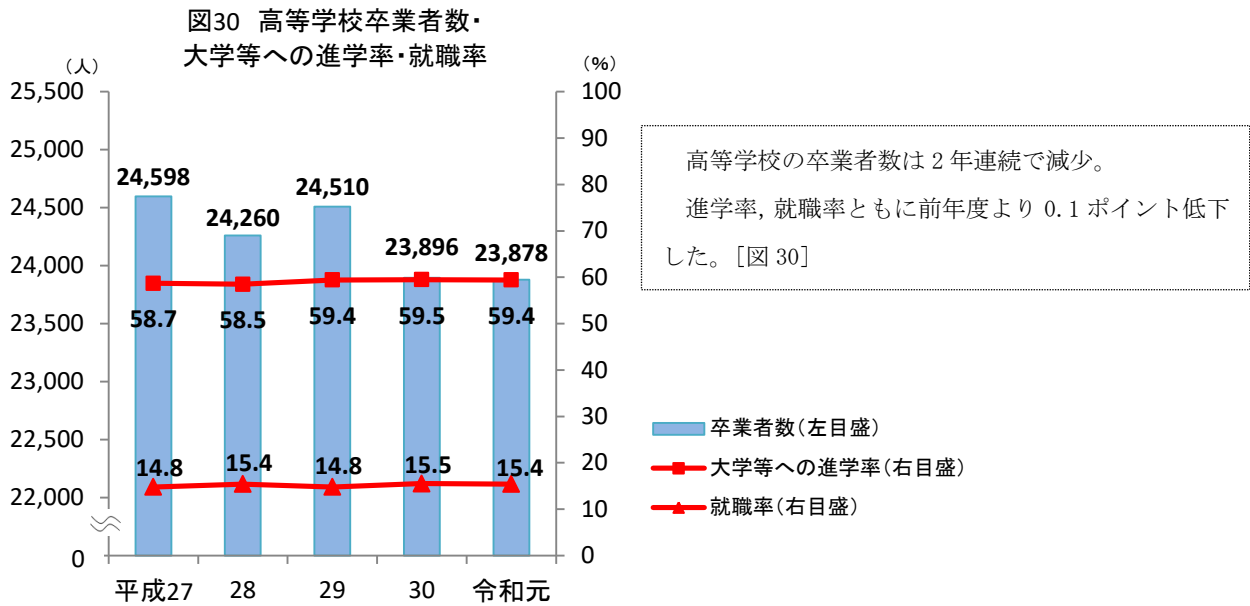
注) 就職者とは、卒業者のうち自営業主等、無期雇用労働者、進学・入学した者のうち就職している者及び有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者の占める割合である。

[義務教育学校卒業後の状況]

167人が卒業し、うち156人が高等学校全日制に、3人が高等学校定時制に、2人が高等学校通信制に、4人が高等専門学校に、1人が特別支援学校高等部に進学した。進学率は99.4%である。

〔高等学校卒業後の状況〕

(1) 卒業後の状況



(2) 大学等進学者

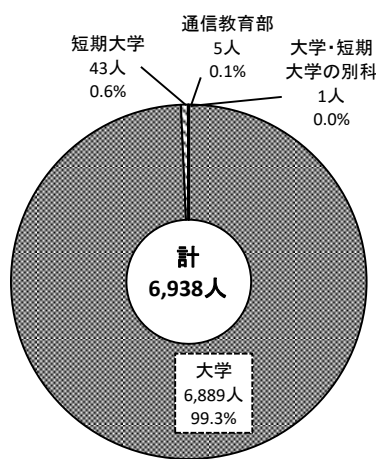


図31 大学等進学者内訳(男)

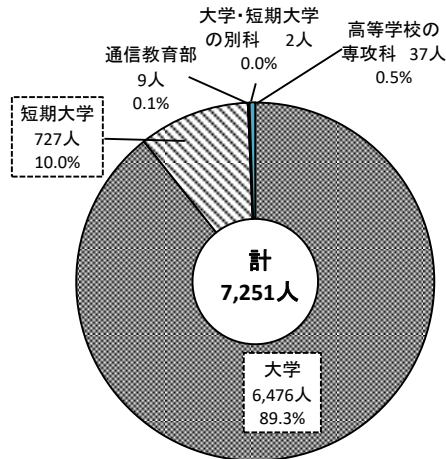


図32 大学等進学者内訳(女)

男子では大学進学者が99.3%を占めている。[図31]
女子では大学進学者が89.3%を占め、次いで短期大学進学者が10.0%を占めている。[図32]

(3) 専修学校等進学・入学者

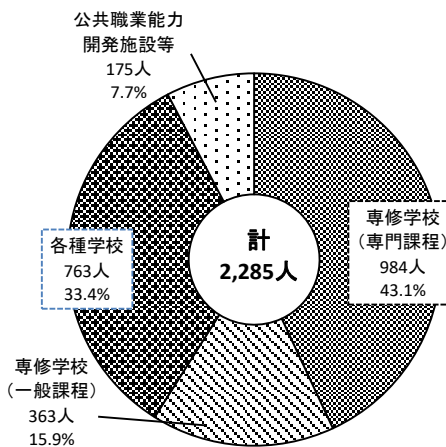


図33 専修学校等進学・入学者内訳(男)

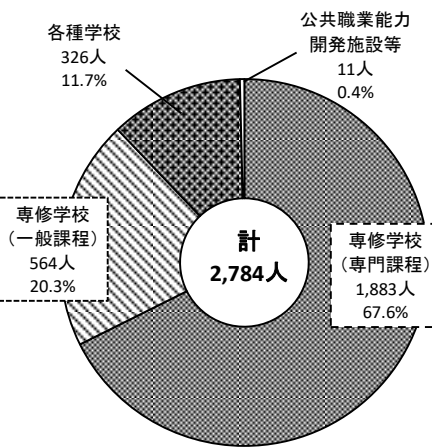


図34 専修学校等進学・入学者内訳(女)

男女ともに専修学校(専門課程)が最も多くを占めている。次いで男子では各種学校が33.4%, 女子では専修学校(一般課程)が20.3%を占めている。[図33], [図34]

(4) 就職者

<産業別>

男子では「製造業」が 50.6%を占め最も多く、次いで「建設業」、「公務（他に分類されるものを除く）」の順である。[図 35]

女子では「製造業」が 28.3%を占め最も多く、次いで「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順である。[図 36]

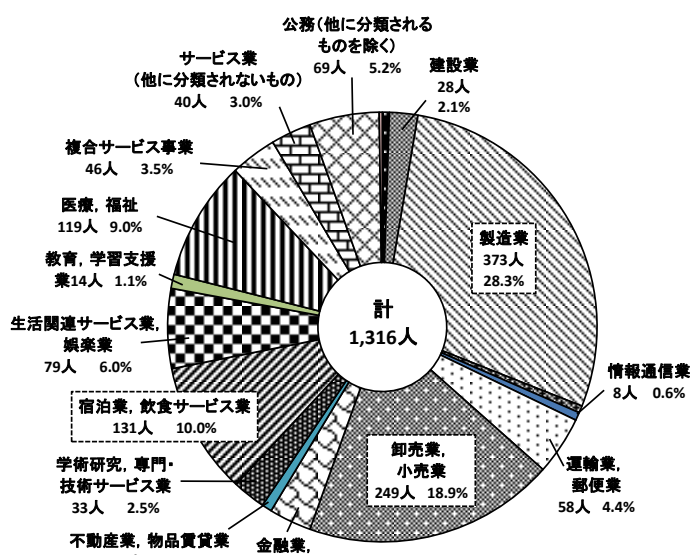
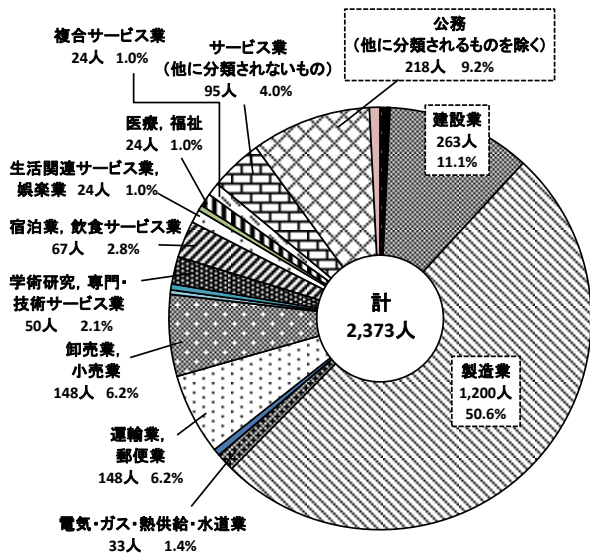


図35 産業別就職者(男)

図36 産業別就職者(女)

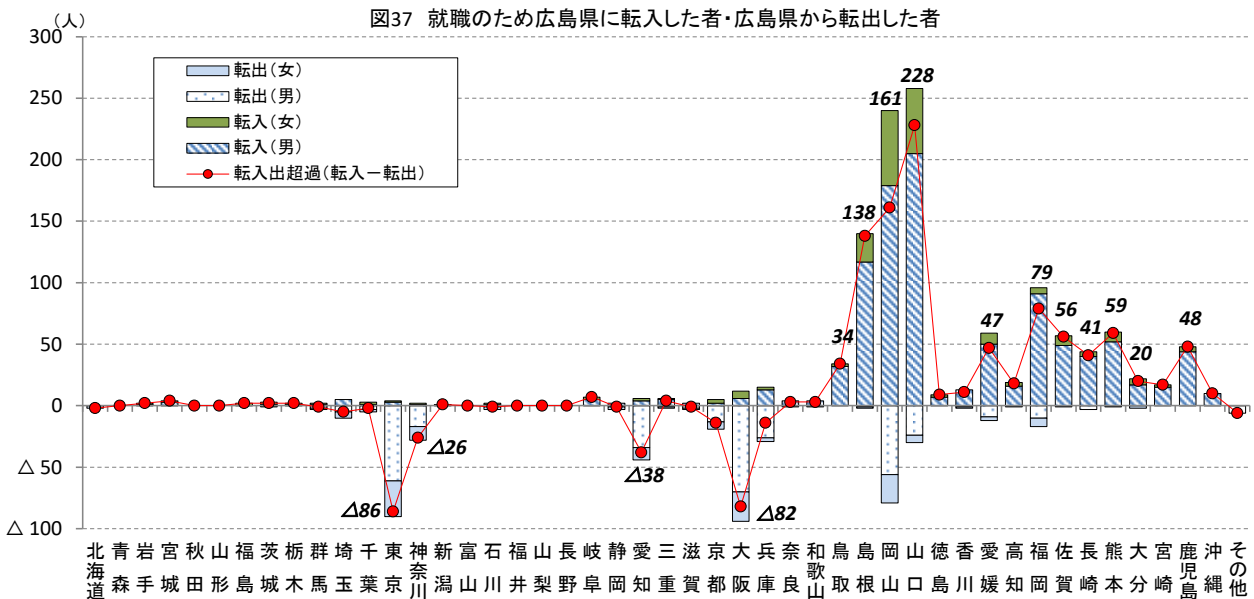
※0.6%以上を占めるもののみ表示。計は全数表示。

<地域別>

全体として転入超過(727人)で、特に男子の転入者(652人)が多い。[図 37]

主な転入超過先：山口県，岡山県，島根県，福岡県，熊本県

主な転出超過先：東京都，大阪府，愛知県，神奈川県



※折れ線グラフの数値は20以上及び△20以下の場合表示。

転入			転出			転入出超過(転入-転出)		
計	男	女	計	男	女	計	男	女
1,221	1,003	218	△ 494	△ 351	△ 143	727	652	75

〔中等教育学校前期課程修了後の状況〕

119人が前期課程を修了し、うち116人が中等教育学校後期課程に、3人が高等学校全日制に進学した。進学率は100%である。

〔特別支援学校卒業後の状況〕

< 中学部 >

184人が中学部を卒業し、うち181人が特別支援学校高等部に、1人が高等学校定時制に進学、2人が左記以外の者となっている。進学率は98.9%である。

< 高等部 >

(1) 卒業後の状況

431人が高等部を卒業し、うち3人が大学等進学、1人が専修学校(専門課程)進学、1人が専修学校(一般課程)入学、1人が公共職業能力開発施設等入学、176人が就職、249人が左記以外の者となっている。左記以外の者のうち、社会福祉施設等入所・通所者は、児童福祉施設8人、障害者支援施設等228人、医療機関1人などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は114人である。

進学率は0.7%で、就職率は全体で40.8%、男子43.2%、女子36.0%である。

(2) 大学等進学者

進学者数は3人で、うち2人が大学(学部)に、1人が特別支援学校高等部専攻科に進学した。

(3) 就職者

男子では、「製造業」が48.4%を占め、次いで「卸売業、小売業」、「サービス業(他に分類されないもの)」の順である。[図38]

女子では、「製造業」が36.0%を占め、次いで「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順である。[図39]

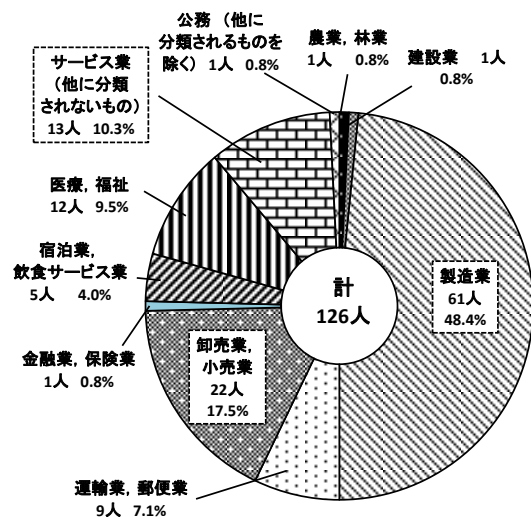


図38 産業別就職者(男)

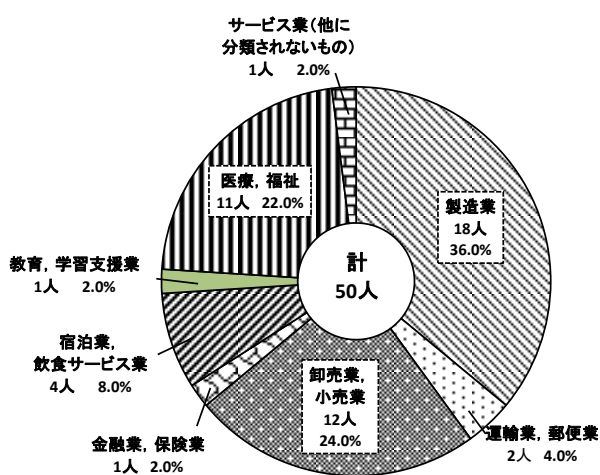


図39 産業別就職者(女)

〔不就学学齢児童生徒調査〕

就学免除者数は11人で、就学猶予者数は0人である。1年以上居所不明者数は1人である。

学齢児童生徒死亡者数(前年度間)は15人である。

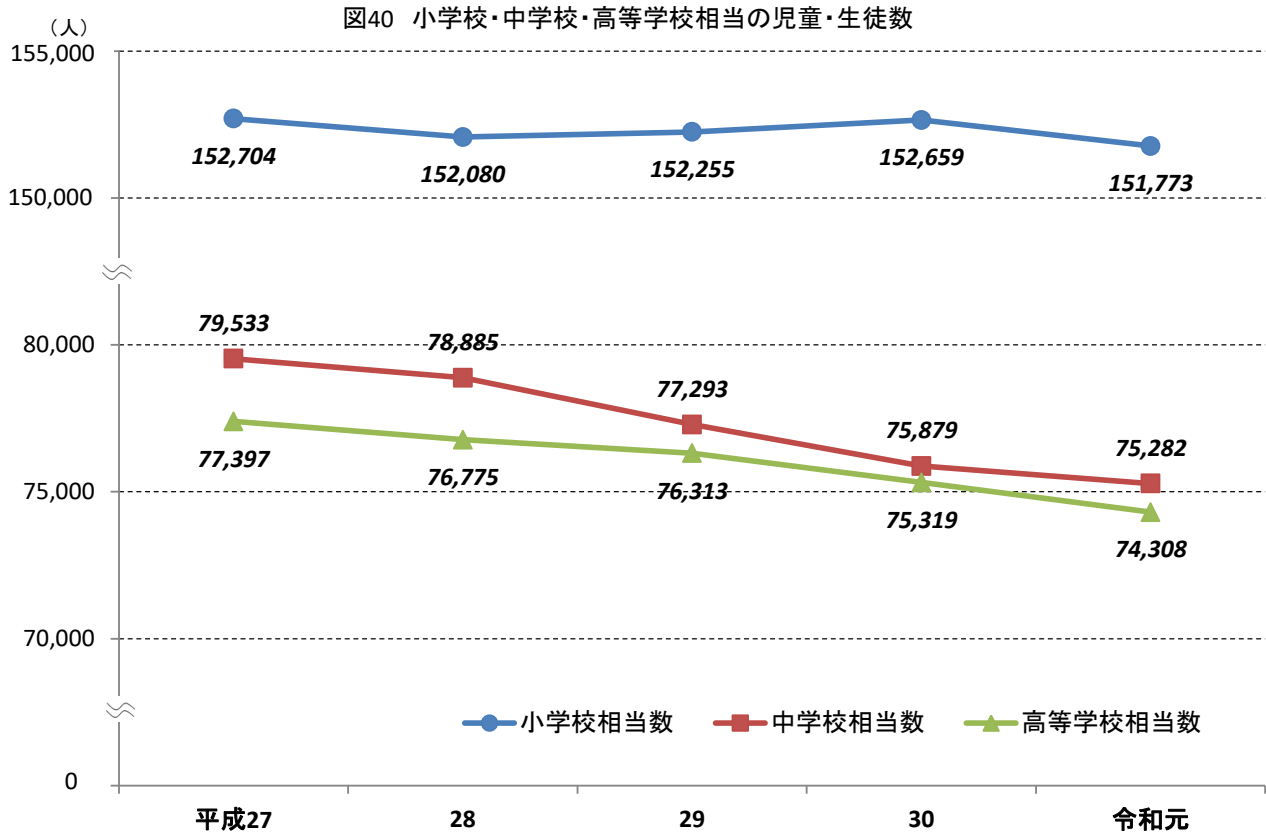
[参考]

小学校相当児童数，中学校相当生徒数及び高等学校相当生徒数について

小学校相当（小学校＋義務教育学校前期課程）児童数は，減少に転じた。[図 40]

中学校相当（中学校＋義務教育学校後期課程＋中等教育学校前期課程）生徒数は，減少傾向である。[図 40]

高等学校相当（高等学校＋中等教育学校後期課程）生徒数は，減少傾向である。[図 40]



小学校相当児童数		平成27年度	28	29	30	令和元
	小学校	152,704	152,080	151,464	151,779	150,797
	義務教育学校前期課程	-	-	791	880	976
合計		152,704	152,080	152,255	152,659	151,773

中学校相当生徒数		平成27年度	28	29	30	令和元
	中学校	79,301	78,536	76,520	75,049	74,394
	義務教育学校後期課程	-	-	420	473	530
	中等教育学校前期課程	232	349	353	357	358
合計		79,533	78,885	77,293	75,879	75,282

高等学校相当生徒数		平成27年度	28	29	30	令和元
	高等学校	77,397	76,775	76,197	75,091	73,967
	中等教育学校後期課程	-	-	116	228	341
合計		77,397	76,775	76,313	75,319	74,308

II 学校調査

1 幼稚園

[表1]園数・学級数・園児数・教員数(本務者)の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園当たりの園児数		1学級当たりの園児数		教員数(本務者)		教員1人当たりの園児数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	園		学級		人									
H27	270	△33	1,298	△183	29,847	△3,620	110.5	0.1	23.0	0.4	2,061	△223	14.5	△0.2
H28	266	△4	1,269	△29	28,785	△1,062	108.2	△2.3	22.7	△0.3	2,038	△23	14.1	△0.4
H29	256	△10	1,204	△65	27,010	△1,775	105.5	△2.7	22.4	△0.2	1,986	△52	13.6	△0.5
H30	252	△4	1,179	△25	26,030	△980	103.3	△2.2	22.1	△0.4	1,948	△38	13.4	△0.2
R元	240	△12	1,118	△61	24,365	△1,665	101.5	△1.8	21.8	△0.3	1,960	12	12.4	△0.9
国立	2	-	6	-	152	△1	76.0	△0.5	25.3	△0.2	11	1	13.8	△1.5
公立	78	△5	125	△9	2,041	△346	26.2	△2.6	16.3	△1.5	242	△4	8.4	△1.3
私立	160	△7	987	△52	22,172	△1,318	138.6	△2.1	22.5	△0.1	1,707	15	13.0	△0.9
男	12,210	△832	131	△1
女	12,155	△833	1,829	13

(1) 園数 (表1)

ア 園数は240園で、前年度より12園減少している。

イ 設置者別では、国立2園、公立78園、私立160園で、前年度より公立は5園、私立は7園減少している。

(2) 学級数 (表1)

ア 学級数は1,118学級で、前年度より61学級減少している。

(3) 園児数 (表1, 統計表2)

ア 園児数は24,365人で、前年度より1,665人減少している。

イ 男女別では、男子12,210人、女子12,155人で、前年度より男子は832人、女子は833人減少している。

ウ 年齢別では、3歳児7,253人、4歳児8,348人、5歳児8,764人で、前年度より3歳児は537人、4歳児は536人、5歳児は592人減少している。

エ 1園当たりの園児数は101.5人で、前年度より1.8人減少している。

オ 1学級当たりの園児数は21.8人で、前年度より0.3人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表1, 統計表2)

ア 教員数(本務者)は1,960人で、前年度より12人増加している。

イ 設置者別では、国立11人、公立242人、私立1,707人で、前年度より国立は1人増加、公立は4人減少し、私立は15人増加している。

ウ 男女別では、男性131人、女性1,829人で、前年度より男性は1人減少し、女性は13人増加している。

エ 教員(本務者)1人当たりの在園者数は12.4人で、前年度より0.9人減少している。

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は93.3%で、前年度より0.1ポイント上昇している。

(5) 入園者数 (表2)

ア 入園者数は7,500人で、前年度より715人減少している。

イ 設置者別では、国立60人、公立958人、私立6,482人で、前年度より国立は1人増加し、公立は163人、私立は553人減少している。

ウ 男女別では、男子3,768人、女子3,732人で、前年度より男子は315人、女子は400人減少している。

エ 年齢別では、3歳児5,974人、4歳児1,166人、5歳児360人で、前年度より3歳児は492人、4歳児は272人減少し、5歳児は49人増加している。

[表2]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	人							
H27	10,028	△ 1,462	7,462	△ 1,130	2,073	△ 329	493	△ 3
H28	9,165	△ 863	7,002	△ 460	1,782	△ 291	381	△ 112
H29	8,573	△ 592	6,612	△ 390	1,606	△ 176	355	△ 26
H30	8,215	△ 358	6,466	△ 146	1,438	△ 168	311	△ 44
R元	7,500	△ 715	5,974	△ 492	1,166	△ 272	360	49
国立	60	1	42	1	18	-	-	-
公立	958	△ 163	156	△ 36	704	△ 116	98	△ 11
私立	6,482	△ 553	5,776	△ 457	444	△ 156	262	60
男	3,768	△ 315	2,984	△ 229	602	△ 100	182	14
女	3,732	△ 400	2,990	△ 263	564	△ 172	178	35

(6) 認可定員及び定員充足率 (表 3)

ア 認可定員は 40,095 人で、前年度より 1,456 人減少している。

設置者別では、国立 160 人、公立 7,467 人、私立が 32,468 人で、前年度より公立は 470 人、私立は 986 人減少している。

イ 定員充足率は 60.8% で、前年度より 1.8 ポイント低下している。

設置者別では、国立 95.0%、公立 27.3%、私立 68.3% で、前年度より国立は 0.6 ポイント、公立は 2.8 ポイント、私立は 1.9 ポイント低下している。

[表3]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員 充足率	認可定員	園児数	定員 充足率	認可定員	園児数	定員 充足率	認可定員	園児数	定員 充足率
	人		%	人		%	人		%	人		%
H27	44,502	29,847	67.1	210	182	86.7	9,175	3,323	36.2	35,117	26,342	75.0
H28	43,412	28,785	66.3	160	162	101.3	8,432	3,038	36.0	34,820	25,585	73.5
H29	42,017	27,010	64.3	160	153	95.6	8,207	2,752	33.5	33,650	24,105	71.6
H30	41,551	26,030	62.6	160	153	95.6	7,937	2,387	30.1	33,454	23,490	70.2
R元	40,095	24,365	60.8	160	152	95.0	7,467	2,041	27.3	32,468	22,172	68.3

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼稚園修了者数の割合 (就園率) (表 4)

ア 修了者数は 9,341 人で、前年度より 415 人減少している。

設置者別では、国立 57 人、公立 1,207 人、私立 8,077 人で、前年度より公立は 226 人、私立は 189 人減少している。

イ 就園率は 37.9% で、前年度より 0.9 ポイント低下している。

設置者別では、国立 0.2%、公立 4.9%、私立 32.7% で、前年度より公立は 0.8 ポイント、私立は 0.2 ポイント低下している。

[表4]修了者数・小学校第1学年に占める幼稚園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校 第1学年	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率
	人		%	人		%	人		%
H27	25,527	11,818	46.3	73	0.3	1,811	7.1	9,934	38.9
H28	25,508	10,696	41.9	77	0.3	1,701	6.7	8,918	35.0
H29	25,632	10,399	40.6	63	0.2	1,521	5.9	8,815	34.4
H30	25,146	9,756	38.8	57	0.2	1,433	5.7	8,266	32.9
R元	24,669	9,341	37.9	57	0.2	1,207	4.9	8,077	32.7

注)H29年度以降の小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

2 幼保連携型認定こども園

[表5]園数・学級数・園児数・教育・保育職員数(本務者)の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園 当たりの 園児数		1学級 当たりの 園児数		教育・保 育職員数 (本務者)		教員1人 当たりの 園児数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	園		学級		人									
H27	41	41	241	241	6,685	6,685	163.0	163.0	27.7	27.7	901	901	7.4	7.4
H28	61	20	313	72	8,646	1,961	141.7	△21.3	27.6	△0.1	1,335	434	6.5	△0.9
H29	88	27	428	115	11,945	3,299	135.7	△6.0	27.9	0.3	1,917	582	6.2	△0.2
H30	110	22	536	108	14,713	2,768	133.8	△2.0	27.4	△0.5	2,399	482	6.1	△0.1
R元	129	19	604	68	17,392	2,679	134.8	1.1	28.8	1.3	2,912	513	6.0	△0.2
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	4	-	17	△4	525	15	131.3	3.8	30.9	6.6	67	△1	7.8	0.3
私立	125	19	587	72	16,867	2,664	134.9	0.9	28.7	1.2	2,845	514	5.9	△0.2
男	8,868	1,402	123	37
女	8,524	1,277	2,789	476

注)学級数は、0~2歳児は調査していないため、3~5歳児のみの学級数である。

(1) 園数 (表 5)

- ア 園数は129園で、前年度より19園増加している。
- イ 設置者別では、公立4園、私立125園で、前年度より私立は19園増加している。

(2) 学級数 (3~5歳児) (表 5)

- ア 学級数は604学級で、前年度より68学級増加している。
- イ 設置者別では、公立17学級、私立587学級で、前年度より公立は4学級減少し、私立は72学級増加している。

(3) 園児数 (表 5, 統計表 3)

- ア 在園者数は17,392人で、前年度より2,679人増加している。
- イ 設置者別では、公立525人、私立16,867人で、前年度より公立は15人、私立は2,664人増加している。
- ウ 男女別では、男子8,868人、女子8,524人で、前年度より男子は1,402人、女子は1,277人増加している。
- エ 年齢別では、0歳児520人、1歳児2,023人、2歳児2,315人、3歳児4,248人、4歳児4,117人、5歳児4,169人で、前年度より0歳児48人、1歳児388人、2歳児321人、3歳児697人、4歳児561人、5歳児664人増加している。
- オ 認定号別では、1号認定4,812人、2号認定7,722人、3号認定4,858人で、前年度より1号認定442人、2号認定1,480人、3号認定757人増加している。
- カ 1園当たりの園児数は134.8人で、前年度より1.1人増加している。
- キ 1学級当たりの園児数は28.8人で、前年度より1.3人増加している。

(4) 教育・保育職員数 (本務者) (表 5, 統計表 3)

- ア 教育・保育職員数(本務者)は2,912人で、前年度より513人増加している。
- イ 設置者別では、公立67人、私立2,845人で、前年度より公立は1人減少し、私立は514人増加している。
- ウ 男女別では、男性123人、女性2,789人で、前年度より男性は37人、女性は476人増加している。
- エ 教育・保育職員(本務者)1人当たりの園児数は6.0人で、前年度より0.2人減少している。
- オ 教育・保育職員(本務者)に占める女性の割合は95.8%で、前年度より0.6ポイント低下している。

(5) 入園者数 (3~5歳児) (表 6)

- ア 入園者数は3,913人で、前年度より601人増加している。
- イ 設置者別では、公立94人、私立3,819人で、前年度より公立は94人減少し、私立は695人増加している。
- ウ 男女別では、男子1,960人、女子1,953人で、前年度より男子は324人、女子は277人増加している。

エ 年齢別では、3歳児 2,258人、4歳児 869人、5歳児 786人で、前年度より3歳児は307人、4歳児は132人、5歳児は162人増加している。

[表6]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	
	人							
H27	5,181	5,181	1,619	1,619	1,801	1,801	1,761	1,761
H28	2,548	△2,633	1,387	△232	578	△1,223	583	△1,178
H29	3,062	514	1,544	157	784	206	734	151
H30	3,312	250	1,951	407	737	△47	624	△110
R元	3,913	601	2,258	307	869	132	786	162
国立	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	94	△94	79	△30	9	△36	6	△28
私立	3,819	695	2,179	337	860	168	780	190
男	1,960	324	1,137	203	433	48	390	73
女	1,953	277	1,121	104	436	84	396	89

注)0~2歳児は入園年度を調査していないため、入園者数に含まない。

(6) 認可定員及び定員充足率 (表7)

- ア 認可定員は19,317人で、前年度より2,802人増加している。
 設置者別では、公立721人、私立18,596人で、前年度より私立は2,802人増加している。
- イ 定員充足率は90.0%で、前年度より0.9ポイント上昇している。
 設置者別では、公立72.8%、私立90.7%で、前年度より公立は2.1ポイント、私立は0.8ポイント上昇している。

[表7]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率
	人			%			人			%		
H27	7,665	6,685	87.2	-	-	-	505	336	66.5	7,160	6,349	88.7
H28	10,074	8,646	85.8	-	-	-	505	334	66.1	9,569	8,312	86.9
H29	13,648	11,945	87.5	-	-	-	505	347	68.7	13,143	11,598	88.2
H30	16,515	14,713	89.1	-	-	-	721	510	70.7	15,794	14,203	89.9
R元	19,317	17,392	90.0	-	-	-	721	525	72.8	18,596	16,867	90.7

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合 (就園率) (表8)

- ア 修了者数は3,458人で、前年度より585人増加している。
 設置者別では、公立126人、私立3,332人で、前年度より公立は26人、私立は559人増加している。
- イ 就園率は14.0%で、前年度より2.6ポイント上昇している。
 設置者別では、公立0.5%、私立13.5%で、前年度より公立は0.1ポイント、私立は2.5ポイント上昇している。

[表8]修了者数・小学校第1学年に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校第1学年	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率
	人		%	人	%	人	%	人	%
H27	25,527	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	25,508	1,643	6.4	-	-	99	0.4	1,544	6.1
H29	25,632	2,270	8.9	-	-	94	0.4	2,176	8.5
H30	25,146	2,873	11.4	-	-	100	0.4	2,773	11.0
R元	24,669	3,458	14.0	-	-	126	0.5	3,332	13.5

注)H29年度以降の小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

3 小学校

[表9]学校数・学級数・児童数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		児童数		1校 当たりの 児童数		1学級 当たりの 児童数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 児童数	
	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	
	校		学級		人									
H27	508	△15	6,534	9	152,704	△670	300.6	7.3	23.4	△0.1	9,525	82	16.0	△0.2
H28	492	△16	6,532	△2	152,080	△624	309.1	8.5	23.3	△0.1	9,534	9	16.0	△0.1
H29	488	△4	6,517	△15	151,464	△616	310.4	1.3	23.2	△0.0	9,604	70	15.8	△0.2
H30	485	△3	6,551	34	151,779	315	312.9	2.6	23.2	△0.1	9,646	42	15.7	△0.0
R元	479	△6	6,546	△5	150,797	△982	314.8	1.9	23.0	△0.1	9,707	61	15.5	△0.2
国立	3	-	42	-	1,178	△2	392.7	△0.7	28.0	△0.0	63	△1	18.7	0.3
公立	468	△6	6,423	△3	147,788	△975	315.8	1.9	23.0	△0.1	9,508	60	15.5	△0.2
私立	8	-	81	△2	1,831	△5	228.9	△0.6	22.6	0.5	136	2	13.5	△0.2
男	…	…	…	…	76,937	△565	…	…	…	…	3,121	24	…	…
女	…	…	…	…	73,860	△417	…	…	…	…	6,586	37	…	…

(1) 学校数 (表 9)

ア 学校数は479校で、前年度より6校減少している。

イ 設置者別では、国立3校、公立468校、私立8校で、前年度より公立は6校減少している。

(2) 学級数 (表 9, 統計表 4)

ア 学級数は6,546学級で、前年度より5学級減少している。

イ 設置者別では、国立42学級、公立6,423学級、私立81学級で、前年度より公立は3学級、私立は2学級減少している。

ウ 学級編制方式別では、単式学級5,256学級、複式学級113学級、特別支援学級1,177学級で、前年度より単式学級は64学級、複式学級は3学級減少し、特別支援学級は62学級増加している。

(3) 児童数 (表 9, 統計表 4)

ア 児童数は150,797人で、前年度より982人減少している。

イ 設置者別では、国立1,178人、公立147,788人、私立1,831人で、前年度より国立は2人、公立は975人、私立は5人減少している。

ウ 学級編制方式別では、単式学級144,263人、複式学級1,014人、特別支援学級5,520人で、前年度より単式学級は1,370人、複式学級は21人減少し、特別支援学級は409人増加している。

エ 男女別では、男子76,937人、女子73,860人で、前年度より男子は565人、女子は417人減少している。

オ 外国人児童数は1,061人で、前年度より87人増加している。

カ 1校当たりの児童数は314.8人で、前年度より1.9人増加している。

キ 1学級当たりの児童数は23.0人で、前年度より0.1人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 9, 統計表 4)

ア 教員数(本務者)は9,707人で、前年度より61人増加している。

イ 設置者別では、国立63人、公立9,508人、私立136人で、前年度より国立は1人減少し、公立は60人、私立は2人増加している。

ウ 男女別では、男性3,121人、女性6,586人で、前年度より男性は24人、女性は37人増加している。

エ 教員(本務者)1人当たりの児童数は15.5人で、前年度より0.2人減少している。

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は67.8%で、前年度より0.1ポイント低下している。

4 中学校

[表10]学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		1学級 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	
	校		学級		人									
H27	272	△ 2	2,791	3	79,301	△ 762	291.5	△ 0.7	28.4	△ 0.3	5,582	23	14.2	△ 0.2
H28	270	△ 2	2,772	△ 19	78,536	△ 765	290.9	△ 0.7	28.3	△ 0.1	5,577	△ 5	14.1	△ 0.1
H29	267	△ 3	2,709	△ 63	76,520	△ 2,016	286.6	△ 4.3	28.2	△ 0.1	5,524	△ 53	13.9	△ 0.2
H30	268	1	2,690	△ 19	75,049	△ 1,471	280.0	△ 6.6	27.9	△ 0.3	5,451	△ 73	13.8	△ 0.1
R元	268	-	2,698	8	74,394	△ 655	277.6	△ 2.4	27.6	△ 0.3	5,490	39	13.6	△ 0.2
国立	4	-	33	-	1,226	2	306.5	0.5	37.2	0.1	69	1	17.8	△ 0.2
公立	235	△ 1	2,446	4	65,796	△ 705	280.0	△ 1.8	26.9	△ 0.3	4,897	38	13.4	△ 0.3
私立	29	1	219	4	7,372	48	254.2	△ 7.4	33.7	△ 0.4	524	-	14.1	0.1
男	38,147	△ 248	2,923	△ 28
女	36,247	△ 407	2,567	67

注)平成28年度から二部授業の「学級数」「生徒数」「担当教員数」は含まれていない。

(1) 学校数 (表 10)

ア 学校数は 268 校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立 4 校、公立 235 校、私立 29 校で、前年度より公立は 1 校減少し、私立は 1 校増加している。

(2) 学級数 (表 10, 統計表 5)

ア 学級数は 2,698 学級で、前年度より 8 学級増加している。

イ 設置者別では、国立 33 学級、公立 2,446 学級、私立 219 学級で、前年度より公立は 4 学級、私立は 4 学級増加している。

ウ 学級編制方式別では、単式学級 2,248 学級、特別支援学級 450 学級で、前年度より単式学級は 5 学級減少し、特別支援学級は 13 学級増加している。

(3) 生徒数 (表 10, 統計表 5)

ア 生徒数は 74,394 人で、前年度より 655 人減少している。

イ 設置者別では、国立 1,226 人、公立 65,796 人、私立 7,372 人で、前年度より国立は 2 人増加、公立は 705 人減少し、私立は 48 人増加している。

ウ 学級編制方式別では、単式学級 72,798 人、特別支援学級 1,596 人で、前年度より単式学級は 739 人減少し、特別支援学級は 84 人増加している。

エ 男女別では、男子 38,147 人、女子 36,247 人で、前年度より男子は 248 人、女子は 407 人減少している。

オ 外国人生徒数は 480 人で、前年度より 48 人増加している。

カ 1 校当たりの生徒数は 277.6 人で、前年度より 2.4 人減少している。

キ 1 学級当たりの生徒数は 27.6 人で、前年度より 0.3 人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 10, 統計表 5)

ア 教員数(本務者)は 5,490 人で、前年度より 39 人増加している。

イ 設置者別では、国立 69 人、公立 4,897 人、私立 524 人で、前年度より国立は 1 人、公立は 38 人増加している。

ウ 男女別では、男性 2,923 人、女性 2,567 人で、前年度より男性は 28 人減少し、女性は 67 人増加している。

エ 教員(本務者) 1 人当たりの生徒数は 13.6 人で、前年度より 0.2 人減少している。

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は 46.8%で、前年度より 0.9 ポイント上昇している。

(5) 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)

ア 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)は 2 校(すべて公立)で、学級数は 6 学級、生徒数は 30 人、教員数(本務者)は 12 人である。

5 義務教育学校

[表11]学校数・学級数・児童生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		児童生徒数		1校当たりの児童生徒数		1学級当たりの児童生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの児童生徒数	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	校		学級		人									
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	2	2	47	47	1,211	1,211	605.5	605.5	25.8	25.8	85	85	14.2	14.2
H30	3	1	62	15	1,353	142	451.0	△154.5	21.8	△3.9	109	24	12.4	△1.8
R元	4	1	75	13	1,506	153	376.5	△74.5	20.1	△1.7	135	26	11.2	△1.3
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	4	1	75	13	1,506	153	376.5	△74.5	20.1	△1.7	135	26	11.2	△1.3
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	…	…	824	116	…	…	…	…	58	12	…	…
女	…	…	…	…	682	37	…	…	…	…	77	14	…	…

(1) 学校数 (表 11)

- ア 学校数は4校で、前年度より1校増加している。
- イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数 (表 11, 統計表 6)

- ア 学級数は75学級で、前年度より13学級増加している。
- イ 学級編制方式別では、単式学級53学級、特別支援学級22学級で、前年度より単式学級は7学級、特別支援学級は6学級増加している。

(3) 児童生徒数 (表 11, 統計表 6)

- ア 児童生徒数は1,506人(前期課程976人、後期課程530人)で、前年度より153人(前期課程96人、後期課程57人)増加している。
- イ 男女別では、男子824人、女子682人で、前年度より男子は116人、女子は37人増加している。
- ウ 課程別では、前期課程976人(男子529人、女子447人)、後期課程530人(男子295人、女子235人)で、前年度より前期課程は96人、後期課程は57人増加している。
- エ 外国人児童生徒数は7人で、前年度より3人増加している。
- オ 1校当たりの児童生徒数は376.5人で、前年度より74.5人減少している。
- カ 1学級当たりの児童生徒数は20.1人で、前年度より1.7人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 11, 統計表 6)

- ア 教員数(本務者)は135人で、前年度より26人増加している。
- イ 男女別では、男性58人、女性77人で、前年度より男性12人、女性14人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は11.2人で、前年度より1.3人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は57.0%で、前年度より0.8ポイント低下している。

6 高等学校

〔1〕全日制・定時制・通信制

[表12]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H27	136	-	77,397	△ 977	569.1	△ 7.2	5,461	7	14.2	△0.2
H28	136	-	76,775	△ 622	564.5	△ 4.6	5,477	16	14.0	△0.2
H29	136	-	76,197	△ 578	560.3	△ 4.3	5,455	△ 22	14.0	△0.0
H30	137	1	75,091	△ 1,106	548.1	△ 12.2	5,404	△ 51	13.9	△0.1
R元	136	△1	73,967	△ 1,124	543.9	△ 4.2	5,389	△ 15	13.7	△0.2
国立	2	-	1,200	△ 7	600.0	△ 3.5
公立	94	△1	48,644	△ 753	517.5	△ 2.5
私立	40	-	24,123	△ 364	603.1	△ 9.1
男	37,444	△ 665	3,558	△ 40
女	36,523	△ 459	1,831	25

(1) 学校数(表12)

ア 学校数は136校で、前年度より1校減少している。

イ 設置者別では、国立2校、公立94校、私立40校で、前年度より公立は1校減少している。

(2) 生徒数(表12, 統計表7, 統計表8)

ア 生徒数は73,967人で、前年度より1,124人減少している。

イ 設置者別では、国立1,200人、公立48,644人、私立24,123人で、前年度より国立は7人、公立は753人、私立は364人減少している。

ウ 男女別では、男子37,444人、女子36,523人で、前年度より男子は665人、女子は459人減少している。

エ 学科分野別では、普通科54,125人が最も多く、次いで総合学科7,179人、工業科5,141人、商業科3,904人となっている。

オ 1校当たりの生徒数は543.9人で、前年度より4.2人減少している。

(3) 教員数(本務者)(表12, 統計表7, 統計表8)

ア 教員数(本務者)は5,389人で、前年度より15人減少している。

イ 男女別では、男性3,558人、女性1,831人で、前年度より男性は40人減少し、女性は25人増加している。

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.7人で、前年度より0.2人減少している。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は34.0%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

〔2〕全日制

[表13]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H27	126	-	71,687	△672	568.9	△5.3	5,085	7	14.1	△0.2
H28	126	-	71,417	△270	566.8	△2.1	5,102	17	14.0	△0.1
H29	126	-	71,127	△290	564.5	△2.3	5,086	△16	14.0	△0.0
H30	127	1	70,103	△1,024	552.0	△12.5	5,031	△55	13.9	△0.1
R元	126	△1	68,977	△1,126	547.4	△4.6	4,997	△34	13.8	△0.1
国立	2	-	1,200	△7	600.0	△3.5	77	-	15.6	△0.1
公立	88	△1	44,719	△785	508.2	△3.1	3,450	△29	13.0	△0.1
私立	36	-	23,058	△334	640.5	△9.3	1,470	△5	15.7	△0.2
男	…	…	34,624	△600	…	…	3,298	△51	…	…
女	…	…	34,353	△526	…	…	1,699	17	…	…

(1) 学校数(表13)

ア 学校数は126校で、前年度より1校減少している。

イ 設置者別では、国立2校、公立88校、私立36校で、前年度より公立は1校減少している。

(2) 生徒数(表13, 統計表7)

ア 生徒数(専攻科含む。)は68,977人で、前年度より1,126人減少している。

イ 男女別では、男子34,624人、女子34,353人で、前年度より男子は600人、女子は526人減少している。

ウ 学科分野別では、普通科50,444人が最も多く、次いで総合学科6,701人、工業科4,948人、商業科3,782人、農業科1,479人となっている。

エ 1校当たりの生徒数は547.4人で、前年度より4.6人減少している。

(3) 教員数(本務者)(表13, 統計表7)

ア 教員数(本務者)は4,997人で、前年度より34人減少している。

イ 男女別では、男性3,298人、女性1,699人で、前年度より男性は51人減少し、女性は17人増加している。

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.8人で、前年度より0.1人減少している。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は34.0%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

(4) 入学状況(表14)

ア 入学定員は25,005人で、前年度より313人減少している。

設置者別では、国立400人、公立15,803人、私立8,802人で、前年度より公立は119人、私立は194人減少している。

イ 入学志願者は39,361人で、前年度より835人減少している。

設置者別では、国立763人、公立20,209人、私立18,389人で、前年度より国立は20人、公立は19人、私立は796人減少している。

男女別では、男子19,865人、女子19,496人で、前年度より男子は642人、女子は193人減少している。

ウ 競争率は1.6倍で、前年度とほぼ同数である。

設置者別では、国立1.9倍、公立1.3倍、私立2.1倍で、前年度より国立は0.1ポイント低下し、公立、私立はほぼ同数となっている。

エ 入学者は 23,097 人で、前年度より 183 人減少している。

設置者別では、国立 399 人、公立 14,961 人、私立 7,737 人で、前年度より国立は 5 人、公立は 119 人、私立は 59 人減少している。

男女別では、男子 11,547 人、女子 11,550 人で、前年度より男子は 196 人減少し、女子は 13 人増加している。

オ 定員充足率は 92.4% で、前年度より 0.4 ポイント上昇している。

設置者別では、国立 99.8%、公立 94.7%、私立 87.9% で、前年度より国立は 1.3 ポイント低下し、私立は 1.2 ポイント上昇している。

[表14]入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	増減数	
	人				倍		人		%	
H27	25,964	△ 507	42,371	△ 1,594	1.6	△ 0.0	24,185	△ 569	93.1	△ 0.4
H28	25,819	△ 145	42,107	△ 264	1.6	△ 0.0	24,111	△ 74	93.4	0.2
H29	25,751	△ 68	41,862	△ 245	1.6	△ 0.0	24,255	144	94.2	0.8
H30	25,318	△ 433	40,196	△ 1,666	1.6	△ 0.0	23,280	△ 975	92.0	△ 2.2
R元	25,005	△ 313	39,361	△ 835	1.6	△ 0.0	23,097	△ 183	92.4	0.4
国立	400	-	763	△ 20	1.9	△ 0.1	399	△ 5	99.8	△ 1.3
公立	15,803	△ 119	20,209	△ 19	1.3	0.0	14,961	△ 119	94.7	△ 0.0
私立	8,802	△ 194	18,389	△ 796	2.1	△ 0.0	7,737	△ 59	87.9	1.2
男	19,865	△ 642	11,547	△ 196
女	19,496	△ 193	11,550	13

〔3〕定時制

[表15]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H27	22	-	1,937	△149	88.0	△6.8	281	△1	6.9	△0.5
H28	22	-	1,841	△96	83.7	△4.4	278	△3	6.6	△0.3
H29	23	1	1,787	△54	77.7	△6.0	281	3	6.4	△0.3
H30	23	-	1,845	58	80.2	2.5	281	-	6.6	0.2
R元	23	-	1,907	62	82.9	2.7	292	11	6.5	△0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	22	-	1,907	62	86.7	2.8	292	11	6.5	△0.0
私立	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	1,171	28	…	…	202	8	…	…
女	…	…	736	34	…	…	90	3	…	…

(1) 学校数(表15, 統計表7)

- ア 学校数は23校(うち全日制との併置19校)で, 前年度と同数である。
- イ 設置者別では, 公立22校, 私立1校で, 前年度と同数である。

(2) 生徒数(表15, 統計表7)

- ア 生徒数は1,907人で, 前年度より62人増加している。
- イ 男女別では, 男子1,171人, 女子736人で, 前年度より男子は28人, 女子は34人増加している。
- ウ 学科分野別では, 普通科1,114人が最も多く, 次いで総合学科478人, 工業科193人, 商業科122人となっている。
- エ 1校当たりの生徒数は82.9人で, 前年度より2.7人増加している。

(3) 教員数(本務者)(表15, 統計表7)

- ア 教員数(本務者)は292人で, 前年度より11人増加している。
- イ 男女別では, 男性202人, 女性90人で, 前年度より男性は8人, 女性は3人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は6.5人で, 前年度とほぼ同数である。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は30.8%で, 前年度より0.2ポイント低下している。

(4) 入学状況(表16)

- ア 入学定員は1,000人で, 前年度より160人増加している。
- イ 入学志願者は676人で, 前年度より178人減少している。
男女別では, 男子394人, 女子282人で, 前年度より男子は137人, 女子は41人減少している。
- ウ 入学者は573人で, 前年度より2人増加している。
男女別では, 男子335人, 女子238人で, 前年度より男子は10人減少し, 女子は12人増加している。
- エ 定員充足率は57.3%で, 前年度より10.7ポイント低下している。

[表16]入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	人				倍		人		%	
H27	1,040	-	694	△153	0.7	△0.1	522	△64	50.2	△6.2
H28	1,040	-	638	△56	0.6	△0.1	507	△15	48.8	△1.4
H29	1,040	-	716	78	0.7	0.1	524	17	50.4	1.6
H30	840	△200	854	138	1.0	0.3	571	47	68.0	17.6
R元	1,000	160	676	△178	0.7	△0.3	573	2	57.3	△10.7
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1,000	160	676	△178	0.7	△0.3	573	2	57.3	△10.7
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	394	△137	…	…	335	△10	…	…
女	…	…	282	△41	…	…	238	12	…	…

〔4〕通信制

[表17]学校数・生徒数・入学者・教員数(本務者)の推移

年度	学校数	対前年 増減数	生徒数		1校当たりの 生徒数		入学者		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
			対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数		
	校		人									
H27	8	-	3,773	△156	471.6	△19.5	686	△80	95	1	39.7	△2.1
H28	8	-	3,517	△256	439.6	△32.0	640	△46	97	2	36.3	△3.5
H29	8	-	3,283	△234	410.4	△29.3	597	△43	88	△9	37.3	1.0
H30	8	-	3,143	△140	392.9	△17.5	703	106	92	4	34.2	△3.1
R元	8	-	3,083	△60	385.4	△7.5	685	△18	100	8	30.8	△3.3
国立	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	2,018	△30	672.7	△10.0
私立	5	-	1,065	△30	213.0	△6.0
男	1,649	△93	336	△49	58	3
女	1,434	33	349	31	42	5

(1) 学校数 (表 17, 統計表 8)

ア 学校数は8校(独立校6校, 併置校2校)で, 前年度と同数である。

イ 設置者別では, 公立3校, 私立5校で, 前年度と同数である。

(2) 生徒数 (表 17, 統計表 8)

ア 生徒数は3,083人で, 前年度より60人減少している。

イ 男女別では, 男子1,649人, 女子1,434人で, 前年度より男子は93人減少し, 女子は33人増加している。

ウ 学科分野別は, 普通科が2,567人, その他の学科が516人である。

エ 1校当たりの生徒数は385.4人で, 前年度より7.5人減少している。

(3) 教員数(本務者) (表 17, 統計表 8)

ア 教員数(本務者)は100人で, 前年度より8人増加している。

イ 男女別では, 男性58人, 女性42人で, 前年度より男性は3人, 女性は5人増加している。

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は30.8人で, 前年度より3.3人減少している。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は42.0%で, 前年度より1.8ポイント上昇している。

(4) 入学状況 (表 17)

ア 入学者は685人で, 前年度より18人減少している。

男女別では, 男子336人, 女子349人で, 前年度より男子は49人減少し, 女子は31人増加している。

7 中等教育学校

[表18]学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1学級 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人							
H27	1	-	8	4	232	114	29.0	△0.5	11	4	21.1	4.2
H28	1	-	12	4	349	117	29.1	0.1	17	6	20.5	△0.6
H29	1	-	16	4	469	120	29.3	0.2	29	12	16.2	△4.4
H30	1	-	20	4	585	116	29.3	△0.1	40	11	14.6	△1.5
R元	1	-	24	4	699	114	29.1	△0.1	53	13	13.2	△1.4
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1	-	24	4	699	114	29.1	△0.1	53	13	13.2	△1.4
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	308	38	36	9
女	391	76	17	4

(1) 学校数 (表 18)

- ア 学校数は1校で、前年度と同数である。
- イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数 (表 18, 統計表 9)

- ア 学級数は24学級で、前年度より4学級増加している。
- イ 学級編成方式は単式学級のみで、前年度より4学級増加している。
- ウ 課程別では、前期課程12学級、後期課程12学級で、前年度より後期課程は4学級増加している。

(3) 生徒数 (表 18, 統計表 9)

- ア 生徒数は699人で、前年度より114人増加している。
- イ 男女別では、男子308人、女子391人で、前年度より男子は38人、女子は76人増加している。
- ウ 課程別では、前期課程358人(男子140人、女子218人)、後期課程341人(男子168人、女子173人)で、前年度より前期課程は1人、後期課程は113人増加している。
- エ 外国人生徒数は2人(後期課程2人)で、前年度と同数である。
- オ 1学級当たりの生徒数は29.1人で、前年度より0.1人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 18, 統計表 9)

- ア 教員数(本務者)は53人で、前年度より13人増加している。
- イ 男女別では、男性36人、女性17人で、前年度より男性は9人、女性は4人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.2人で、前年度より1.4人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は32.1%で、前年度より0.4ポイント低下している。

8 特別支援学校

[表19]学校数・学級数・在学者数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		在学者数		1校 当たりの 在学者数		1学級 当たりの 在学者数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 在学者数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人									
H27	18	-	626	22	2,592	98	144.0	5.4	4.1	0.0	1,496	84	1.7	△0.0
H28	18	-	648	22	2,673	81	148.5	4.5	4.1	△0.0	1,537	41	1.7	0.0
H29	18	-	645	△3	2,713	40	150.7	2.2	4.2	0.1	1,555	18	1.7	0.0
H30	18	-	643	△2	2,755	42	153.1	2.3	4.3	0.1	1,550	△5	1.8	0.0
R元	18	-	655	12	2,788	33	154.9	1.8	4.3	△0.0	1,563	13	1.8	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	18	-	655	12	2,788	33	154.9	1.8	4.3	△0.0	1,563	13	1.8	0.0
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,806	1	574	△8
女	982	32	989	21

(1) 学校数 (表 19)

ア 学校数は18校で、前年度と同数である。

イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数 (表 19, 統計表 10)

ア 学級数は655学級で、前年度より12学級増加している。

イ 部別では、幼稚部9学級、小学部255学級、中学部155学級、高等部236学級で、前年度より幼稚部は1学級、小学部は16学級増加し、高等部は5学級減少している。

(3) 在学者数 (表 19, 統計表 10)

ア 在学者数は2,788人で、前年度より33人増加している。

イ 男女別では、男子1,806人、女子982人で、前年度より男子は1人、女子は32人増加している。

ウ 部別では、幼稚部21人、小学部913人、中学部572人、高等部1,282人で、前年度より小学部は48人、中学部は18人増加し、高等部は33人減少している。

エ 外国人在学者数は11人(幼稚部1人、小学部5人、中学部3人、高等部2人)で、前年度より3人減少している。

オ 1校当たりの在学者数は154.9人で、前年度より1.8人増加している。

カ 1学級当たりの在学者数は4.3人で、前年度とほぼ同数である。

(4) 教員数(本務者) (表 19, 統計表 10)

ア 教員数(本務者)は1,563人で、前年度より13人増加している。

イ 男女別では、男性574人、女性989人で、前年度より男性は8人減少し、女性は21人増加している。

ウ 教員(本務者)1人当たりの在学者数は1.8人で、前年度とほぼ同数である。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は63.3%で、前年度より0.8ポイント上昇している。

9 専修学校

[表20]学校数・学科数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学科数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		1学科 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	
	校		学科		人									
H27	80	-	213	4	12,602	△217	157.5	△2.7	59.2	△2.2	819	1	15.4	△0.3
H28	80	-	201	△12	12,449	△153	155.6	△1.9	61.9	2.8	822	3	15.1	△0.2
H29	78	△2	230	29	12,552	103	160.9	5.3	54.6	△7.4	828	6	15.2	0.0
H30	76	△2	219	△11	12,625	73	166.1	5.2	57.6	3.1	793	△35	15.9	0.8
R元	76	-	221	2	12,510	△115	164.6	△1.5	56.6	△1.0	790	△3	15.8	△0.1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	7	-	623	△1	207.7	△0.3	89.0	△0.1	73	△1	8.5	0.1
私立	73	-	214	2	11,887	△114	162.8	△1.6	55.5	△1.1	717	△2	16.6	△0.1
男	5,071	△97	331	△7
女	7,439	△18	459	4

(1) 学校数 (表 20)

- ア 学校数は76校で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、公立3校、私立73校で、前年度と同数である。

(2) 学科数 (表 20)

- ア 学科数は221学科で、前年度より2学科増加している。
- イ 設置者別では、公立7学科、私立214学科で、前年度より私立は2学科増加している。

(3) 生徒数 (表 20, 統計表 11)

- ア 生徒数は12,510人で、前年度より115人減少している。
- イ 設置者別では、公立623人、私立11,887人で、前年度より公立は1人、私立は114人減少している。
- ウ 男女別では、男子5,071人、女子7,439人で、前年度より男子は97人、女子は18人減少している。
- エ 課程別では、高等課程896人、専門課程11,614人で、前年度より高等課程は52人、専門課程は63人減少している。
- オ 分野別では、医療関係4,068人(男子1,064人、女子3,004人)が最も多く、次いで文化・教養関係3,239人(男子1,747人、女子1,492人)、工業関係1,541人(男子1,350人、女子191人)、衛生関係1,396人(男子373人、女子1,023人)、商業実務関係984人(男子235人、女子749人)、教育・社会福祉関係744人(男子196人、女子548人)、服飾・家政関係487人(男子62人、女子425人)、農業関係51人(男子44人、女子7人)となっている。
- カ 1校当たりの生徒数は164.6人で、前年度より1.5人減少している。
- キ 1学科当たりの生徒数は56.6人で、前年度より1.0人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 20)

- ア 教員数(本務者)は790人で、前年度より3人減少している。
- イ 設置者別では、公立73人、私立717人で、前年度より公立は1人、私立は2人減少している。
- ウ 男女別では、男性331人、女性459人で、前年度より男性は7人減少し、女性は4人増加している。
- エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.8人で、前年度より0.1人減少している。
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は58.1%で、前年度より0.7ポイント上昇している。

(5) 入学状況（平成 31 年度春期）及び卒業状況（平成 31 年 3 月）（表 21）

- ア 入学定員は 9,091 人で、前年度より 67 人減少している。
 設置者別では、公立 240 人、私立 8,851 人で、前年度より私立は 67 人減少している。
- イ 入学志願者は 7,353 人で、前年度より 105 人増加している。
 設置者別では、公立 564 人、私立 6,789 人で、前年度より公立は 10 人減少し、私立は 115 人増加している。
- ウ 入学者数は 5,914 人で、前年度より 207 人増加している。
 設置者別では、公立 224 人、私立 5,690 人で、前年度より公立は 10 人、私立は 197 人増加している。
 男女別では、男子 2,490 人、女子 3,424 人で、前年度より男子は 114 人、女子は 93 人増加している。
- エ 入学率は 80.4% で、前年度より 1.7 ポイント上昇している。
 設置者別では、公立 39.7%、私立 83.8% で、前年度より公立は 2.4 ポイント、私立は 1.5 ポイント上昇している。
- オ 定員充足率は 65.1% で、前年度より 2.7 ポイント上昇している。
 設置者別では、公立 93.3%、私立 64.3% で、前年度より公立は 4.2 ポイント、私立は 2.7 ポイント上昇している。
- カ 卒業者数は 5,373 人で、前年度より 464 人増加している。
 設置者別では、公立 210 人、私立 5,163 人で、前年度より公立は 8 人減少し、私立は 472 人増加している。
 男女別では、男子 2,317 人、女子 3,056 人で、前年度より男子は 356 人、女子は 108 人増加している。
- キ 卒業者のうち、関係分野に就職した者は 3,626 人で、前年度より 71 人増加している。
 男女別では、男子 1,388 人、女子 2,238 人で、前年度より男子は 93 人増加し、女子は 22 人減少している。

[表21]入学定員・入学志願者・入学者・入学率・定員充足率・卒業者・関係分野就職者の推移

年度	入学定員		入学志願者		入学者		入学率		定員充足率		卒業者		関係分野就職者	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	人						%				人			
H27	8,979	△ 160	7,462	△ 57	5,817	88	78.0	1.8	64.8	2.1	5,244	38	3,842	26
H28	8,832	△ 147	7,133	△ 329	5,563	△ 254	78.0	0.0	63.0	△ 1.8	5,148	△ 96	3,706	△ 136
H29	8,860	28	7,440	307	5,992	429	80.5	2.5	67.6	4.6	5,359	211	3,630	△ 76
H30	9,158	298	7,248	△ 192	5,707	△ 285	78.7	△ 1.8	62.3	△ 5.3	4,909	△ 450	3,555	△ 75
R元	9,091	△ 67	7,353	105	5,914	207	80.4	1.7	65.1	2.7	5,373	464	3,626	71
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	240	-	564	△ 10	224	10	39.7	2.4	93.3	4.2	210	△ 8
私立	8,851	△ 67	6,789	115	5,690	197	83.8	1.5	64.3	2.7	5,163	472
男	2,490	114	2,317	356	1,388	93
女	3,424	93	3,056	108	2,238	△ 22

10 各種学校

[表22]学校数・課程数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		課程数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		1課程 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		課程		人									
H27	28	△1	30	△5	2,488	113	88.9	7.0	82.9	15.1	139	△15	17.9	2.5
H28	27	△1	31	1	2,609	121	96.6	7.8	84.2	1.2	149	10	17.5	△0.4
H29	26	△1	31	-	2,350	△259	90.4	△6.2	75.8	△8.4	175	26	13.4	△4.1
H30	25	△1	28	△3	2,226	△124	89.0	△1.3	79.5	3.7	165	△10	13.5	0.1
R元	24	△1	30	2	2,101	△125	87.5	△1.5	70.0	△9.5	169	4	12.4	△1.1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	24	△1	30	2	2,101	△125	87.5	△1.5	70.0	△9.5	169	4	12.4	△1.1
男	1,288	△44	83	-
女	813	△81	86	4

(1) 学校数 (表 22)

- ア 学校数は24校で、前年度より1校減少している。
- イ 設置者はすべて私立である。

(2) 課程数 (表 22)

- ア 課程数は30課程で、前年度より2課程増加している。

(3) 生徒数 (表 22, 統計表 12)

- ア 生徒数は2,101人で、前年度より125人減少している。
- イ 男女別では、男子1,288人、女子813人で、前年度より男子は44人、女子は81人減少している。
- ウ 課程別では、各種学校のみにある課程1,506人(男子1,043人、女子463人)が最も多く、次いで文化・教養関係311人(男子171人、女子140人)、医療関係266人(男子62人、女子204人)、工業関係18人(男子12人、女子6人)となっている。
- エ 1校当たりの生徒数は87.5人で、前年度より1.5人減少している。
- オ 1課程当たりの生徒数は70.0人で、前年度より9.5人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 22, 統計表 12)

- ア 教員数(本務者)は169人で、前年度より4人増加している。
- イ 男女別では、男性83人、女性86人で、前年度より女性は4人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は12.4人で、前年度より1.1人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は50.9%で、前年度より1.2ポイント上昇している。

(5) 入学状況(平成31年度春期)及び卒業状況(平成31年3月) (統計表 12)

- ア 入学者数は1,550人で、前年度より80人減少している。
男女別では、男子1,053人、女子497人で、前年度より男子は12人、女子は68人減少している。
課程別では、各種学校のみにある課程が1,255人と最も多く、次いで文化・教養関係143人、医療関係137人、工業関係15人となっている。
- イ 卒業者数は1,705人で、前年度より56人減少している。
男女別では、男子1,117人、女子588人で、前年度より男子は35人、女子は21人減少している。
課程別では、各種学校のみにある課程が1,390人と最も多く、次いで文化・教養関係197人、医療関係115人、工業関係3人となっている。

Ⅲ 卒業後の状況調査

1 中学校

[表23]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C									
	卒業生数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者				
	人															
H27	26,710	△587	26,282	△545	127	△24	115	△12	…	…	…	…	…	…	…	…
H28	26,566	△144	26,193	△89	122	△5	95	△20	…	…	…	…	…	…	…	…
H29	26,747	181	26,360	167	126	4	86	△9	…	…	…	…	…	…	…	…
H30	25,863	△884	25,511	△849	114	△12	86	-	16	…	40	8	…	22	…	…
R元	25,643	△220	25,305	△206	117	3	71	△15	16	-	32	9	△7	14	△8	
国立	412	△10	411	△9	-	△2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	22,785	△100	22,455	△87	117	6	71	△15	16	-	32	9	△7	14	△8	
私立	2,446	△110	2,439	△110	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	13,057	△245	12,880	△230	48	-	51	△11	10	△4	26	8	△2	7	△5	
女	12,586	25	12,425	24	69	3	20	△4	6	4	6	1	△5	7	△3	

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	%											
H27	186	△5	-	△1	6	4	…	…	98.4	0.1	0.5	△0.0
H28	156	△30	-	-	4	△2	…	…	98.6	0.2	0.4	△0.1
H29	173	17	2	2	4	-	…	…	98.6	△0.0	0.3	△0.0
H30	151	△22	1	△1	4	-	5	…	98.6	0.1	0.3	△0.1
R元	150	△1	-	△1	3	△1	9	4	98.7	0.0	0.2	△0.0
国立	1	1	-	-	-	-	-	-	99.8	0.2	-	-
公立	142	△3	-	△1	3	△1	9	4	98.6	0.1	0.3	△0.0
私立	7	1	-	-	-	-	-	-	99.7	△0.0	-	-
男	78	△3	-	△1	3	-	8	4	98.6	0.1	0.4	△0.0
女	72	2	-	-	-	△1	1	-	98.7	△0.0	0.1	0.0

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)平成29年度以前の「就職者等」は、雇用契約期間が1年未満で期間の定めのある者及び雇用契約期間の長さにかかわらず短時間勤務の者を含まない。

また、「就職率」とは、卒業生のうち「就職者等」及び「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」が占める割合である。

注5)平成30年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注6)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表23, 統計表13)

ア 卒業生数は25,643人(男子13,057人, 女子12,586人)で, 前年度より220人減少している。

イ 設置者別では, 国立412人(男子205人, 女子207人), 公立22,785人(男子11,618人, 女子11,167人), 私立2,446人(男子1,234人, 女子1,212人)で, 前年度より国立は10人, 公立は100人, 私立は110人減少している。

ウ 男女別では, 男子13,057人, 女子12,586人で, 前年度より男子は245人減少し, 女子は25人増加している。

エ 特別支援学級の卒業生数は, 468人(男子333人, 女子135人)で, 前年度より18人増加している。(男子は21人増加, 女子3人減少。)

(2) 高等学校等進学者数(表23, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は25,305人で, 前年度より206人減少している。

イ 設置者別では, 国立411人, 公立22,455人, 私立2,439人で, 前年度より国立は9人, 公立は87人, 私立は110人減少している。

- ウ 男女別では、男子 12,880 人、女子 12,425 人で、前年度より男子は 230 人減少し、女子は 24 人増加している。
- エ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程 23,374 人（男子 11,729 人、女子 11,645 人）、定時制課程 506 人（男子 297 人、女子 209 人）、通信制課程 855 人（男子 443 人、女子 412 人）、中等教育学校後期課程 1 人（女子 1 人）、高等専門学校 345 人（男子 266 人、女子 79 人）、特別支援学校高等部 224 人（男子 145 人、女子 79 人）である。
- オ 高等学校等進学率は 98.7% で、前年度とほぼ同数である。
男女別では、男子 98.6%、女子 98.7% で、前年度より男子は 0.1 ポイント上昇している。
- カ 特別支援学級からの高等学校等進学者は、423 人（男子 302 人、女子 121 人）である。

(3) 専修学校等進学・入学者数（表 23, 統計表 13）

- ア 専修学校等進学・入学者数は 117 人で、前年度より 3 人増加している。
- イ 設置者別では、公立のみ 117 人で、前年度より国立は 2 人減少、公立は 6 人増加し、私立は 1 人減少している。
- ウ 男女別では、男子 48 人、女子 69 人で、前年度より女子は 3 人増加している。
- エ 専修学校等進学・入学者数の内訳は、専修学校（高等課程）進学者 91 人、専修学校（一般課程）入学者 17 人、各種学校入学者 5 人、公共職業能力開発施設等入学者 4 人である。
- オ 特別支援学級からの専修学校等進学・入学者数は 14 人である。

(4) 就職状況（表 23, 統計表 13, 統計表 15）

- ア 就職者総数（卒業者のうち自営業主等、無期雇用労働者、A、Bのうち就職している者及び有期雇用労働者のうち雇用契約期間が 1 年以上かつフルタイム勤務相当の者のこと。以下同じ）は 60 人（男子 47 人、女子 13 人）である。
- イ 就職者総数の内訳は、自営業主等 16 人（男子 10 人、女子 6 人）、無期雇用労働者 32 人（男子 26 人、女子 6 人）、A、Bのうち就職している者 3 人（男子 3 人）、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が 1 年以上かつフルタイム勤務相当の者 9 人（男子 8 人、女子 1 人）である。
- ウ 就職率（卒業者のうち就職者総数の占める割合。以下同じ。）は 0.2% である。男女別では、男子 0.4%、女子 0.1% である。
- エ 就職者総数を産業別にみると、最も多いのが第 3 次産業の 33 人で、次いで第 2 次産業の 24 人となっており、第 1 次産業は就職者がおらず、左記以外・不詳は 3 人である。
- オ 就職者総数のうち、広島県内への就職者数は 55 人で、広島県外への就職者数は 5 人である。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数（表 23）

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は 150 人で、前年度より 2 人減少している。
- イ 設置者別では、国立 1 人、公立 142 人、私立 7 人で、前年度より国立は 1 人増加、公立は 4 人減少し、私立は 1 人増加している。
- ウ 男女別では、男子 78 人、女子 72 人で、前年度より男子は 4 人減少し、女子は 2 人増加している。
- エ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者 150 人（男子 78 人、女子 72 人）のみである。

2 義務教育学校

[表24]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	卒業生数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		高等学校等進学率		就職率		
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人										%				
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	129	129	129	129	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	
R元	167	38	166	37	-	-	-	-	1	1	99.4	△0.6	-	-	
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	167	38	166	37	-	-	-	-	1	1	99.4	△0.6	-	-	
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	80	15	80	15	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
女	87	23	86	22	-	-	-	-	1	1	98.9	△1.1	-	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表24)

ア 卒業生数は167人で、前年度より38人増加している。

イ 男女別では、男子80人、女子87人で、前年度より男子は15人、女子は23人増加している。

(2) 高等学校等進学者数(表24, 表25, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は166人で、前年度より37人増加している。

イ 男女別では、男子80人、女子86人で、前年度より男子は15人、女子は22人増加している。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程156人(男子75人、女子81人)、定時制課程3人(男子2人、女子1人)、通信制課程2人(男子1人、女子1人)、高等専門学校4人(男子2人、女子2人)、特別支援学校高等部1人(女子1人)である。

エ 高等学校等進学率は99.4%で、前年度より0.6ポイント低下している。

オ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者1人(女子1人)である。

[表25]高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	129	129	122	122	2	2	4	4	-	-	1	1	-	-
R元	166	37	156	34	3	1	2	△2	-	-	4	3	1	1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	166	37	156	34	3	1	2	△2	-	-	4	3	1	1
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	80	15	75	14	2	2	1	△2	-	-	2	1	-	-
女	86	22	81	20	1	△1	1	-	-	-	2	2	1	1

3 高等学校

[表26]状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C		D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		大学等進学率		就職率	
	卒業生数	対前年増減数	大学等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者	対前年増減数	一時的な仕事に就いた者	対前年増減数	左記以外、不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人																	
H27	24,598	309	14,428	271	5,604	34	3,603	197	192	△15	771	△178	41	△24	58.7	0.4	14.8	0.5
H28	24,260	△338	14,201	△227	5,380	△224	3,687	84	192	-	800	29	51	10	58.5	△0.1	15.4	0.6
H29	24,510	250	14,567	366	5,315	△65	3,602	△85	144	△48	882	82	27	△24	59.4	0.9	14.8	△0.6
H30	23,896	△614	14,207	△360	5,051	△264	3,670	68	110	△34	858	△24	24	△3	59.5	0.0	15.5	0.7
R元	23,878	△18	14,189	△18	5,069	18	3,668	△2	133	23	819	△39	21	△3	59.4	△0.0	15.4	△0.0
	%																	
国立	400	△6	284	8	3	-	-	-	1	-	-	-	71.0	3.0	0.8	0.0
公立	15,481	△187	8,759	△176	2,940	△30	110	15	423	43	18	△2	56.6	△0.4	19.1	0.0
私立	7,997	175	5,146	150	725	28	23	8	395	△82	3	△1	64.3	0.5	9.1	0.1
全日	22,885	△32	14,067	11	4,837	20	3,364	△38	95	16	522	△41	21	△3	61.5	0.1	14.8	△0.2
定時	352	44	25	△4	81	21	176	22	38	7	32	△2	-	-	7.1	△2.3	50.0	-
通信	641	△30	97	△25	151	△23	128	14	265	4	-	-	15.1	△3.0	20.0	3.0
男	12,058	△3	6,938	116	2,285	△90	2,368	17	40	△11	427	△35	5	△1	57.5	1.0	19.7	0.1
女	11,820	△15	7,251	△134	2,784	108	1,300	△19	93	34	392	△4	16	△2	61.3	△1.1	11.1	△0.2

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科)・特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2)「大学等進学率」とは、卒業者に占める「大学等進学者」の割合のことである。

注3)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注4)「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」と「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」の占める割合のことである。

注5)「就職者」には、就職しながら進学及び入学をした者を含む。

注6)通信制では、就業別及び一時的な仕事に就いた者を調査していない。

注7)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表26, 統計表16)

- ア 卒業生数は23,878人(男子12,058人, 女子11,820人)で、前年度より18人減少している。
- イ 設置者別では、国立400人(男子206人, 女子194人), 公立15,481人(男子7,510人, 女子7,971人), 私立7,997人(男子4,342人, 女子3,655人)で、前年度より国立は6人, 公立187人減少し, 私立は175人増加している。
- ウ 課程別では、全日課程22,885人(男子11,506人, 女子11,379人), 定時課程352人(男子218人, 女子134人), 通信課程641人(男子334人, 女子307人)である。
- エ 男女別では、男子12,058人, 女子11,820人で、前年度より男子は3人, 女子は15人減少している。

(2) 大学等進学者数(表26, 統計表16, 統計表17)

- ア 大学等進学者数は14,189人(男子6,938人, 女子7,251人)で、前年度より18人減少している。
- イ 設置者別では、国立284人(男子144人, 女子140人), 公立8,759人(男子4,131人, 女子4,628人), 私立5,146人(男子2,663人, 女子2,483人)で、前年度より国立は8人増加, 公立は176人減少し, 私立は150人増加している。
- ウ 男女別では、男子6,938人, 女子7,251人で、前年度より男子は116人増加し, 女子は134人減少している。
- エ 大学等進学者数の内訳は、大学(学部)13,365人(男子6,889人, 女子6,476人), 短期大学(本科)770人(男子43人, 女子727人), 大学・短期大学の通信教育部14人(男子5人, 女子9人), 大学・短期大学の別科3人(男子1人, 女子2人), 高等学校専攻科37人(女子37人)である。
- オ 大学等進学率は59.4%で、前年度とほぼ同数である。
男女別では、男子57.5%, 女子61.3%で、前年度より男子は1.0ポイント上昇し, 女子は1.1ポイント低下している。
- カ 大学(学部)・短期大学(本科)へ入学を志願した者は15,610人で、前年度より194人減少し, 本年3月卒業者に占める割合は65.4%である。
男女別では、男子7,935人, 女子7,675人で、本年3月卒業者のうち男子の65.8%, 女子の64.9%が入学志願している。

(3) 専修学校等進学・入学者数 (表 26, 統計表 16)

- ア 専修学校等進学・入学者数は5,069人で、前年度より18人増加している。
- イ 男女別では、男子2,285人、女子2,784人で、前年度より男子は90人減少し、女子は108人増加している。
- ウ 専修学校等進学・入学者数の内訳は、専修学校(専門課程)進学者2,867人、専修学校(一般課程)入学者927人、各種学校入学者1,089人、公共職業能力開発施設等入学者186人である。

(4) 就職者数 (表 26, 統計表 16, 統計表 18, 統計表 19, 統計表 20)

- ア 就職者数(就職者とA・Bのうち就職している者を加えた全就職者数。以下同じ)は3,689人で、前年度より5人減少している。
- 就職者数の内訳は、就職者3,668人(男子2,368人、女子1,300人)、進学又は入学した者のうち就職している者21人(男子5人、女子16人)である。
- イ 設置者別では、国立3人(男子1人、女子2人)、公立2,958人(男子1,860人、女子1,098人)、私立728人(男子512人、女子216人)で、前年度より公立は32人減少し、私立は27人増加している。
- ウ 男女別では、男子2,373人、女子1,316人で、前年度より男子は16人増加し、女子は21人減少している。
- エ 産業別内訳では、第1次産業は22人(男子15人、女子7人)、第2次産業は1,867人(男子1,466人、女子401人)、第3次産業は1,778人(男子873人、女子905人)、左記以外の者は22人(男子19人、女子3人)である。
- オ 産業分類別では、「製造業」1,573人、「卸売業、小売業」397人、「建設業」291人の順に多い。
- また、男子及び女子ともに「製造業」が最も多く、男子就職者総数の50.6%、女子就職者総数の28.3%を占めている。
- カ 職業分類別では、「生産工程従事者」1,530人、「サービス職業従事者」419人、「事務従事者」360人の順に多い。
- また、男子では、「生産工程従事者」が1,244人と最も多く、男子就職者総数の52.4%を占めており、女子では、「事務従事者」が307人と最も多く、女子就職者総数の23.3%を占めている。
- キ 卒業者に占める就職者の割合は15.4%で、前年度とほぼ同数である。
- 男女別では、男子19.7%、女子11.1%で、前年度より男子は0.1ポイント上昇し、女子は0.2ポイント低下している。
- 広島県外への就職者数は494人(男子351人、女子143人)で、就職者数の13.9%(前年度より2.8ポイント上昇)を占めている。(通信制を含まない。)
- 内訳は、近畿地方149人(男子114人、女子35人)、関東地方137人(男子89人、女子48人)、中国・四国地方126人(男子91人、女子35人)、中部地方50人(男子36人、女子14人)、九州地方24人(男子15人、女子9人)、北海道・東北地方2人(女子2人)、その他6人(男子6人)である。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数 (表 26, 統計表 16)

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は819人で、前年度より39人減少している。
- イ 男女別では、男子427人、女子392人で、前年度より男子は35人、女子は4人減少している。
- ウ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者818人(男子426人、女子392人)、不詳・死亡の者1人(男子1人)である。

4 中等教育学校（前期課程）

[表27]状況別修了者数・高等学校等進学率・就職率の推移〔前期課程〕

年度	修了者数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		高等学校等進学率		就職率	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人										%			
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	118	118	118	118	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
H30	116	△2	116	△2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
R元	119	3	119	3	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	119	3	119	3	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	64	23	64	23	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
女	55	△20	55	△20	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 前期課程修了者数(表27)

ア 前期課程修了者数は119人で、前年度より3人増加している。

イ 男女別では、男子64人、女子55人で、前年度より男子は23人増加し、女子は20人減少している。

(2) 高等学校等進学者数(表27, 表28, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は119人で、前年度より3人増加している。

イ 男女別では、男子64人、女子55人で、前年度より男子は23人増加し、女子は20人減少している。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程3人(男子2人、女子1人)、中等教育学校後期課程116人(男子62人、女子54人)である。

エ 高等学校等進学率は100.0%である。

[表28]高等学校等進学者の内訳の推移〔前期課程〕

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制		定時制		通信制		全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
			対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数								
	人													
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	118	118	2	2	-	-	1	1	115	115	-	-	-	-
H30	116	△2	1	△1	1	1	-	△1	114	△1	-	-	-	-
R元	119	3	3	2	-	△1	-	-	116	2	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	119	3	3	2	-	△1	-	-	116	2	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	64	23	2	2	-	-	-	-	62	21	-	-	-	-
女	55	△20	1	-	-	△1	-	-	54	△19	-	-	-	-

5 特別支援学校

〔1〕 中学部

[表29]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移〔中学部〕

年度	卒業生数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		高等学校等進学率		就職率	
	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	%	対前年増減数	%	対前年増減数
H27	188	32	186	30	-	-	-	-	2	2	98.9	△1.1	-	-
H28	156	△32	154	△32	-	-	-	-	2	-	98.7	△0.2	-	-
H29	208	52	206	52	-	-	-	-	2	-	99.0	0.3	-	-
H30	186	△22	184	△22	-	-	-	-	2	-	98.9	△0.1	-	-
R元	184	△2	182	△2	-	-	-	-	2	-	98.9	△0.0	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	184	△2	182	△2	-	-	-	-	2	-	98.9	△0.0	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	118	6	118	8	-	-	-	-	-	△2	100.0	1.8	-	-
女	66	△8	64	△10	-	-	-	-	2	2	97.0	△3.0	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数 (表 29)

ア 卒業生数は184人で、前年度より2人減少している。

イ 男女別では、男子118人、女子66人で、前年度より男子は6人増加し、女子は8人減少している。

(2) 高等学校等進学者数 (表 29, 表 30, 統計表 13, 統計表 14)

ア 高等学校等進学者数は182人で、前年度より2人減少している。

イ 男女別では、男子118人、女子64人で、前年度より男子は8人増加し、女子は10人減少している。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の定時制課程1人(男子1人)、特別支援学校高等部181人(男子117人、女子64人)である。

エ 高等学校等進学率は98.9%で、前年度とほぼ同数である。

男女別では、男子100.0%、女子97.0%で、前年度より男子は1.8ポイント上昇し、女子3.0ポイント低下している。

(3) 左記以外、不詳・死亡の者の数 (表 29, 統計表 13)

ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は2人で、前年度と同数である。

イ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者2人(女子2人)である。

[表30]高等学校等進学者の内訳の推移〔中学部〕

年度	高等学校等進学者数		高等学校				中等教育学校		高等専門学校		特別支援学校高等部			
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H27	186	30	1	1	-	-	1	△1	-	-	-	-	184	30
H28	154	△32	-	△1	-	-	-	△1	-	-	-	-	154	△30
H29	206	52	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	204	50
H30	184	△22	1	1	-	△1	-	△1	-	-	-	-	183	△21
R元	182	△2	-	△1	1	1	-	-	-	-	-	-	181	△2
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	182	△2	-	△1	1	1	-	-	-	-	-	-	181	△2
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	118	8	-	△1	1	1	-	-	-	-	-	-	117	8
女	64	△10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	△10

〔2〕 高等部

[表31]状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移〔高等部〕

年度	卒業生数		大学等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		大学等進学率		就職率	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人											%		
H27	399	72	3	△5	3	△4	112	4	281	77	0.8	△1.7	28.1	△5.0
H28	429	30	5	2	5	2	134	22	285	4	1.2	0.4	31.2	3.2
H29	398	△31	3	△2	3	△2	115	△19	277	△8	0.8	△0.4	28.9	△2.3
H30	428	30	6	3	1	△2	150	35	271	△6	1.4	0.6	35.0	6.2
R元	431	3	3	△3	3	2	176	26	249	△22	0.7	△0.7	40.8	5.8
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	431	3	3	△3	3	2	176	26	249	△22	0.7	△0.7	40.8	5.8
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	292	11	1	△5	3	3	126	22	162	△9	0.3	△1.8	43.2	6.1
女	139	△8	2	2	-	△1	50	4	87	△13	1.4	1.4	36.0	4.7

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学通信教育部、大学・短期大学の別科、高等学校の専攻科及び特別支援学校高等部専攻科へ進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表31)

ア 卒業生数は431人で、前年度より3人増加している。

イ 男女別では、男子292人、女子139人で、前年度より男子は11人増加し、女子は8人減少している。

(2) 大学等進学者数(表32, 統計表16, 統計表17)

ア 大学等進学者数は3人で、前年度より3人減少している。

イ 男女別では、男子1人、女子2人で、前年度より男子は5人減少し、女子は2人増加している。

ウ 大学等進学者数の内訳は、大学(学部)2人(男子1人、女子1人)、特別支援学校高等部専攻科1人(女子1人)である。

エ 大学等進学率は0.7%で、前年度より0.7ポイント低下している。

男女別では、男子0.3%、女子1.4%で、前年度より男子は1.8ポイント低下し、女子は1.4ポイント上昇している。

[表32]大学等進学者の内訳の推移〔高等部〕

年度	大学等進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学				高等学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	学部	対前年増減数	本科	対前年増減数	通信教育部	対前年増減数	別科	対前年増減数	専攻科	対前年増減数	高等部専攻科	対前年増減数
	人													
H27	3	△5	1	△6	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
H28	5	2	3	2	-	△1	-	-	-	-	-	△1	2	2
H29	3	△2	2	△1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	△1
H30	6	3	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R元	3	△3	2	△3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	△3	2	△3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1	△5	1	△4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△1
女	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1

(3) 専修学校等進学・入学者数 (表 31, 統計表 16)

- ア 専修学校等進学・入学者数は3人で、前年度より2人増加している。
- イ 男女別では、男子3人で、前年度より男子は3人増加し、女子は1人減少している。
- ウ 専修学校等進学・入学者数の内訳は、専修学校(専門課程)進学者1人、専修学校(一般課程)入学者1人、公共職業能力開発施設等入学者1人である。

(4) 就職者数 (表 31, 統計表 16, 統計表 18, 統計表 19)

- ア 就職者数は176人で、前年度より26人増加している。
- イ 男女別では、男子126人、女子50人で、前年度より男子は22人、女子は4人増加している。
- ウ 産業別内訳では、第1次産業1人(男子1人)、第2次産業80人(男子62人、女子18人)、第3次産業95人(男子63人、女子32人)である。
- エ 産業分類別では、「製造業」79人(男子61人、女子18人)、「卸売業、小売業」34人(男子22人、女子12人)、「医療、福祉」23人(男子12人、女子11人)の順に多い。
また、男女ともに「製造業」が最も多く、男子では就職者総数の48.4%を占めており、女子では就職者総数の36.0%を占めている。
- オ 職業分類別では、「生産工程従事者」62人(男子49人、女子13人)、「運搬・清掃等従事者」47人(男子33人、女子14人)、「サービス職業従事者」31人(男子19人、女子12人)の順に多い。
また、男子では「生産工程従事者」が49人と最も多く、男子就職者総数の38.9%を占めており、女子では「運搬・清掃等従事者」が14人と最も多く、女子就職者総数の28.0%を占めている。
- カ 卒業者に占める就職者の割合は40.8%で、前年度より5.8ポイント上昇している。
男女別では、男子43.2%、女子36.0%で、前年度より男子は6.1ポイント、女子は4.7ポイント上昇している。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数 (表 31, 統計表 16)

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は249人(すべて左記以外の者)で、前年度より22人減少している。
- イ 男女別では、男子162人、女子87人で、前年度より男子は9人、女子は13人減少している。
- ウ 左記以外、不詳・死亡の者の内訳は、児童福祉施設8人(男子4人、女子4人)、障害者支援施設等228人(男子151人、女子77人)、医療機関1人(女子1人)などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は114人(男子79人、女子35人)である。

IV 不就学学齡児童生徒調査

1 不就学学齡児童生徒数

[表33]就学免除者・就学猶予者数, 1年以上居所不明者数, 学齡児童生徒死亡者数(前年度間)の推移

年度	就学免除者・就学猶予者						1年以上 居所不明者		学齡児童 生徒死亡者 (前年度間)	
	計	対前年 増減数	就学 免除者	対前年 増減数	就学 猶予者	対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	人									
H27	19	△5	19	△4	-	△1	-	△7	13	6
H28	15	△4	15	△4	-	-	-	-	9	△4
H29	13	△2	13	△2	-	-	1	1	10	1
H30	15	2	15	2	-	-	-	△1	11	1
R元	11	△4	11	△4	-	-	1	1	15	4
6~11歳	6	-	6	-	-	-	-	-	11	5
12~14歳	5	△4	5	△4	-	-	1	1	4	△1
男	6	△3	6	△3	-	-	1	1	9	3
女	5	△1	5	△1	-	-	-	-	6	1

(1) 就学免除者数 (表 33)

ア 就学免除者数は11人で、前年度より4人減少している。

イ 年齢別では、学齡児童が6人、学齡生徒が5人で、前年度より学齡生徒は4人減少している。

ウ 男女別では、男子6人、女子5人で、前年度より男子は3人、女子は1人減少している。

(2) 就学猶予者数 (表 33)

ア 就学猶予者数は0人で、前年度と同数である。

(3) 1年以上居所不明者数 (表 33)

ア 1年以上居所不明者数は1人で、前年度より1人増加している。

(4) 学齡児童生徒死亡者数(前年度間) (表 33)

ア 学齡児童生徒死亡者数は15人で、前年度より4人増加している。

イ 年齢別では、学齡児童11人、学齡生徒4人で、前年度より学齡児童は5人増加し、学齡生徒は1人減少している。

ウ 男女別では、男子9人、女子6人で、前年度より男子は3人、女子は1人増加している。

〔参考〕（文部科学省「学校基本調査報告書」より）

1 広島県の大学、短期大学、高等専門学校 の状況

〔表34〕広島県内所在の大学、短期大学、高等専門学校の学校数・学生数・教員数

年度	大学			短期大学			高等専門学校		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立
学校数(校)	20	4	15	5	-	5	2	2	-
学生数(人)	61,998	7,379	38,735	1,595	-	1,595	1,624	1,624	-
男	33,743	3,194	20,684	149	-	149	1,293	1,293	-
女	28,255	4,185	18,051	1,446	-	1,446	331	331	-
教員数(人)	4,062	554	1,776	106	-	106	116	116	-
男	2,980	402	1,152	55	-	55	101	101	-
女	1,082	152	624	51	-	51	15	15	-

注)「学生数」には、大学については学部学生のほか大学院学生、専攻科・別科の学生及び聴講生・研究生等を含め、短期大学については本科学生のほか、専攻科・別科の学生及び聴講生等を含んでいる。

(1) 大学 (表 34, 付表 3)

ア 学校数は 20 校である。

設置者別では、国立 1 校、公立 4 校、私立 15 校である。

イ 学生数は 61,998 人である。

男女別では、男子 33,743 人、女子 28,255 人で、女子が全体の 45.6% (全国 44.3%) を占めている。

ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は 7,770 人で、県内大学進学率は 52.7% である。

男女別では、男子 3,816 人、女子 3,954 人で、県内大学進学率は男子 48.3%、女子 57.8% である。

エ 教員数 (本務者) は 4,062 人である。

男女別では、男性 2,980 人、女性 1,082 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 26.6% (全国 25.3%) である。

(2) 短期大学 (表 34, 付表 3)

ア 学校数は 5 校で、すべて私立である。

イ 学生数は 1,595 人である。

男女別では、男子 149 人、女子 1,446 人で、女子が全体の 90.7% (全国 88.4%) を占めている。

ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は 579 人で、県内短期大学進学率は 71.4% である。

男女別では、男子 33 人、女子 546 人で、県内短期大学進学率は男子 66.0%、女子 71.7% である。

エ 教員数 (本務者) は 106 人である。

男女別では、男性 55 人、女性 51 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 48.1% (全国 52.6%) である。

(3) 高等専門学校 (表 34)

ア 学校数は 2 校で、すべて国立である。

イ 学生数は 1,624 人である。

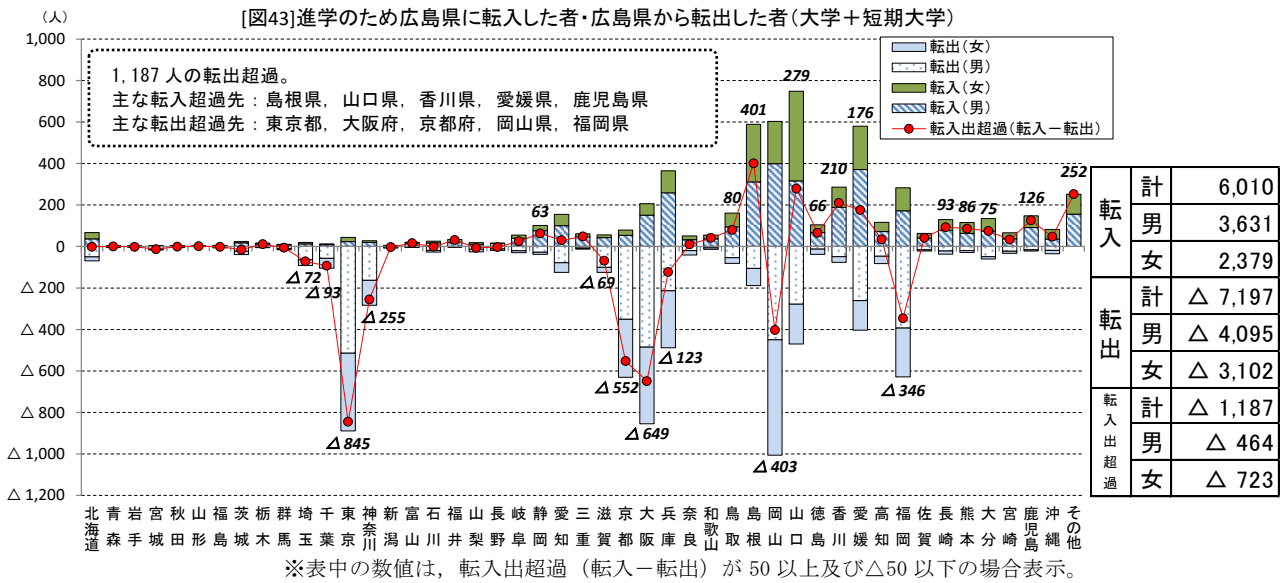
男女別では、男子 1,293 人、女子 331 人で、女子が全体の 20.4% (全国 19.8%) を占めている。

ウ 教員数 (本務者) は 116 人である。

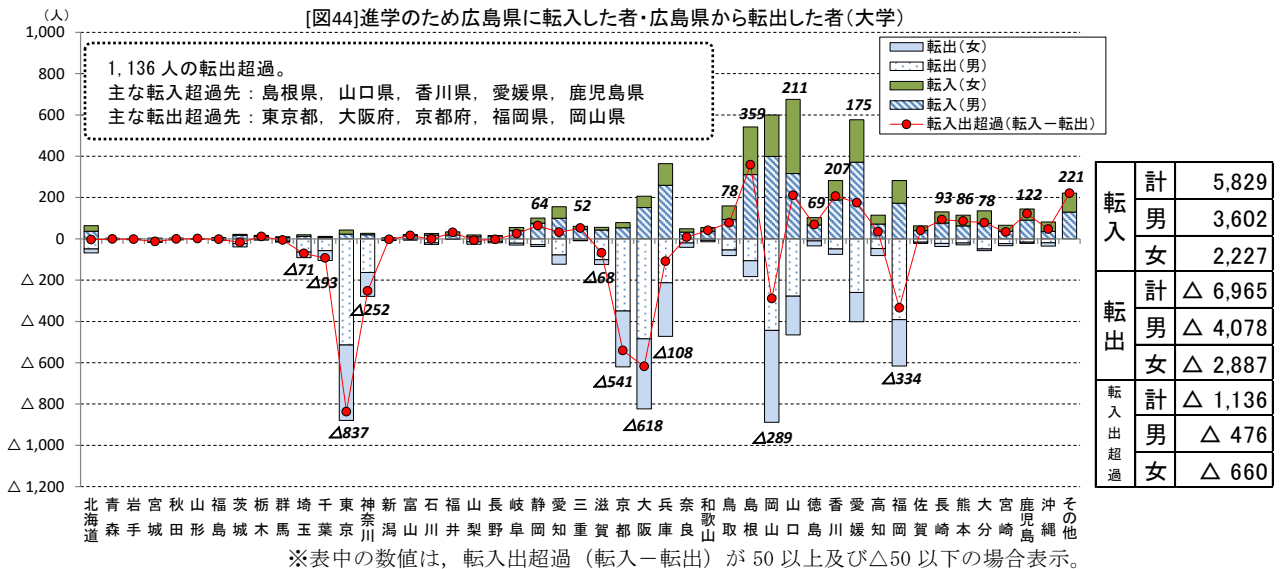
男女別では、男性 101 人、女性 15 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 12.9% (全国 11.2%) である。

2 大学，短期大学の転入出状況

(1) 大学+短期大学



(2) 大学



(3) 短期大学

